電子契約システム（工事・業務）
操作マニュアル

利用者環境準備編

令和７年３月

もくじ

もくじ 1

本マニュアルについて 3
本マニュアルの読みかた 3
使用しているマークと記号 3
用語について 3
画面の説明 4
画面共通 4
入力画面 5
エラーメッセージ 6
電子契約システムにログインする 6
IC カード形式の電子証明書でログインする 7
ファイルタイプの電子証明書でログインする 8
電子契約システムからログアウトする 10

1. 電子契約システムとは 11

2. パソコンをセットアップする 13
2.1 推奨環境を確認する 13
2.2 プラグインをインストールする 14
2.3 ブラウザーの設定をする 18
2.3.1 Microsoft Edge を使用する場合 18
2.3.2 Google Chrome を使用する場合 24
2.4 セットアップが正常に完了したことを確認する 29

3. 電子契約システムプラグインを入れ替える 31
3.1 プラグインを入れ替える 31
3.2 プラグインをアンインストールする 31
3.3 拡張機能を入れ替える 32
3.4 拡張機能をアンインストールする 33
3.4.1 Microsoft Edge から拡張機能をアンインストールする 33
3.4.2 Google Chrome から拡張機能をアンインストールする 34

4. 付録 36
4.1 Chrome ウェブストアに接続できない環境で利用者環境を整備する 36
4.1.1 Microsoft Edge に拡張機能をインストールする 36
4.1.2 Google Chrome に拡張機能をインストールする 38
4.1.3 電子契約システムプラグインを入れ替える 39
4.1.4 Microsoft Edge で拡張機能を再読み込みする 40

4.1.5 Google Chrome で拡張機能を再読み込みする.....41
4.1.6 電子契約システムプラグインをアンインストールする.....41

改訂履歴..... 42

本マニュアルについて

電子契約システム（工事・業務）（以降、電子契約システムと呼びます）を利用する事業者向けのマニュアルです。
本マニュアルでは利用者環境の準備について説明しています。

電子契約システムへのログイン方法については、「電子契約システムにログインする」を参照してください。

本マニュアルの読みかた

使用しているマークと記号

マニュアル内で使用しているマークと記号の意味は次のとおりです。

マーク、表記	説明
重要	重要情報や留意してほしい事項を記載しています。
メモ	参考情報や補足事項を記載しています。
『　』	本マニュアル以外の電子契約システムのマニュアル名称です。

用語について

本マニュアルで使用している用語の意味は次のとおりです。

■　**利用者（権限）**

用語	説明
契約担当者	契約業務全般の官側担当者
受注者	契約の相手方となる民側利用者
代表者	各事業者の中で代表権を持つ者
代理人	委任者から業務を委任された者
復代理人	代理人から業務を委任された者
代表事業者	共同企業体の代表となる事業者
構成事業者	共同企業体を構成する事業者

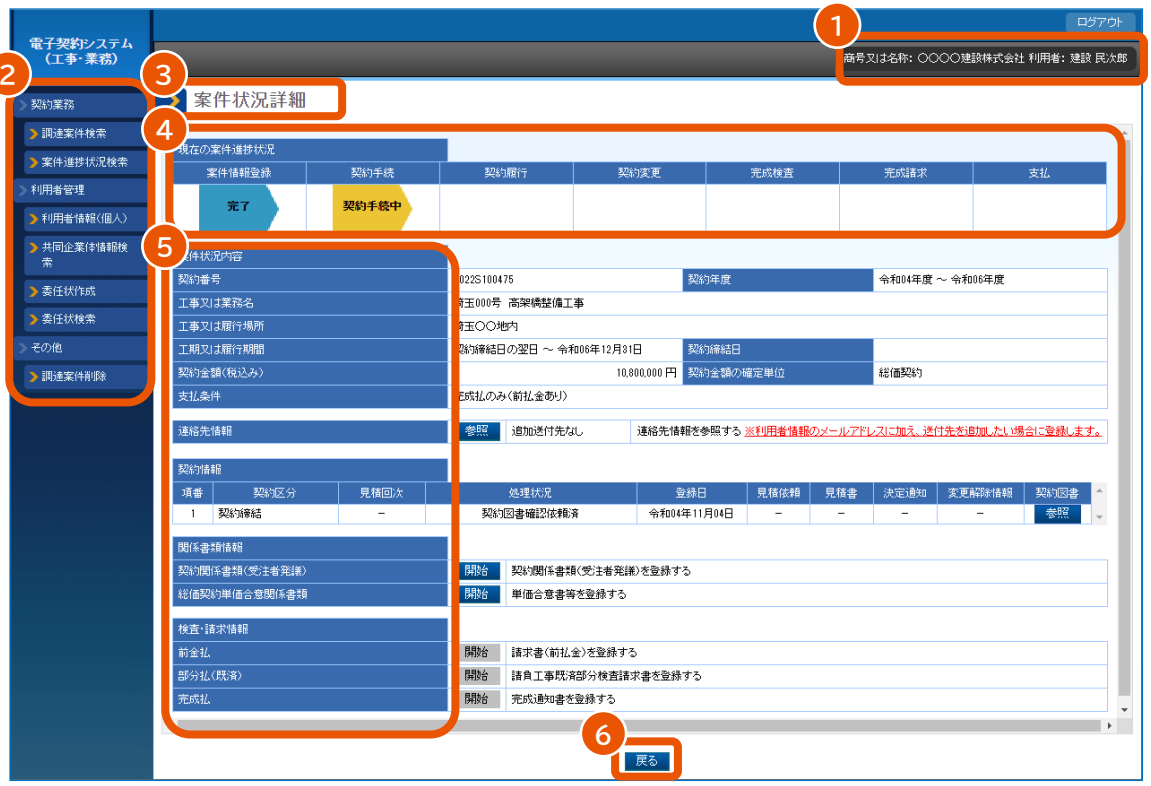
■　その他

用語	説明
PIN 番号	IC カード、ファイルタイプの電子証明書を使用するときの暗証番号（Personal Identification Number）
受注者番号	電子契約システムが自動付与する民側利用者を識別するための番号 利用者登録完了後にシステムから発番される
長期署名	署名の有効期間を延長するための仕組み 契約締結、単価合意が完了し、署名から 3 日経過後に自動で付与される
認証局	民側利用者が利用する電子証明書の発行と発行した電子証明書の認証業務を実施する組織

画面の説明

電子契約システムの操作画面の構成と表記は次のとおりです。契約内容によって画面に表示される項目は異なります。

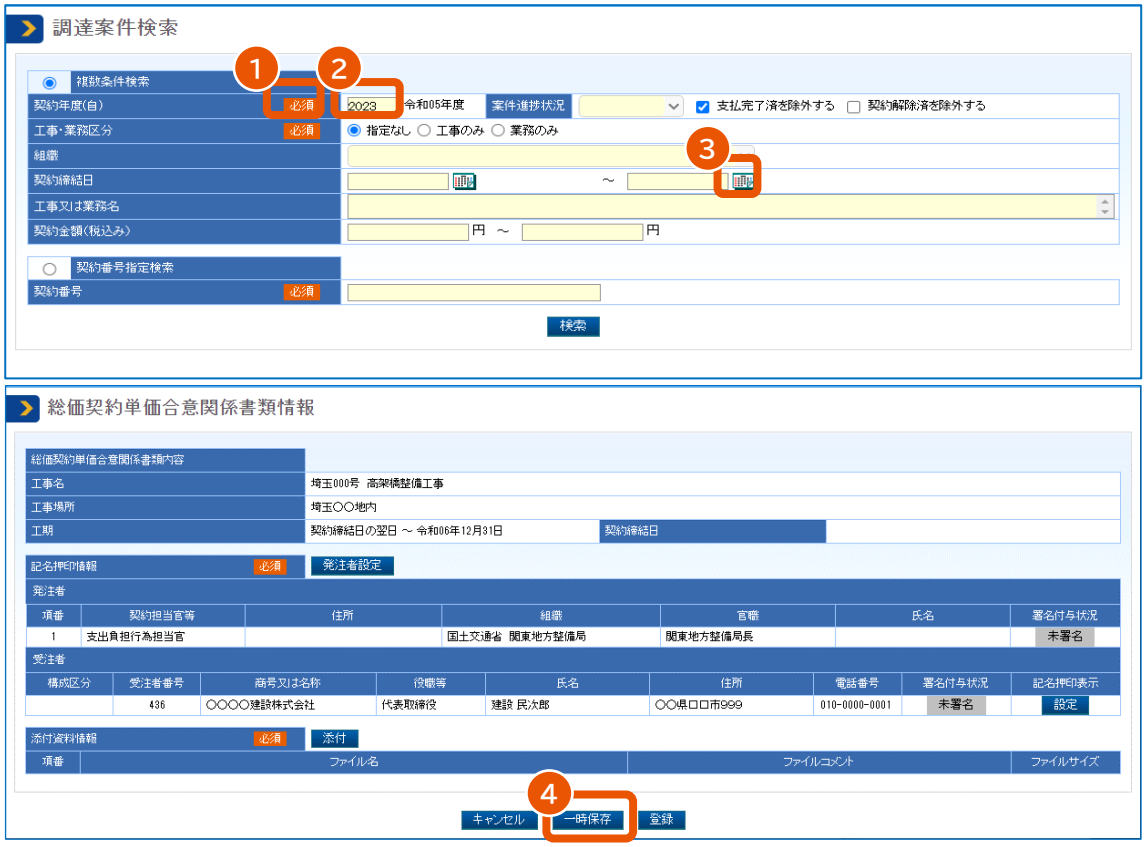
画面共通



No.	名称	説明
1	ログインユーザー名	電子契約システムにログインしているユーザー名が表示されます。
2	メニュー名	電子契約システムで実施できる業務のメニューです。メニューをクリックすると画面が遷移します。 本マニュアルでは、「（メニュー名）」（例：「調達案件検索」）と表記します。
3	画面名	表示されている画面の名称です。 本マニュアルでは、「（画面名）」画面（例：「案件状況詳細」画面）と表記します。

No.	名称	説明
4	現在の案件進捗状況	案件の進捗状況が表示されます。 完了した業務を示します。 作業中の業務を示します。中の文字は業務の進捗状況を示します。
5	項目名	画面に表示される項目の名称です。 本マニュアルでは、「（項目名）」と表記します。（例：「契約情報」の「契約区分」）
6	ボタン	画面に表示されるボタンです。クリックすると、検索したり画面が遷移したりします。 本マニュアルでは、［（ボタン名）］（例：［戻る］）と表記します。

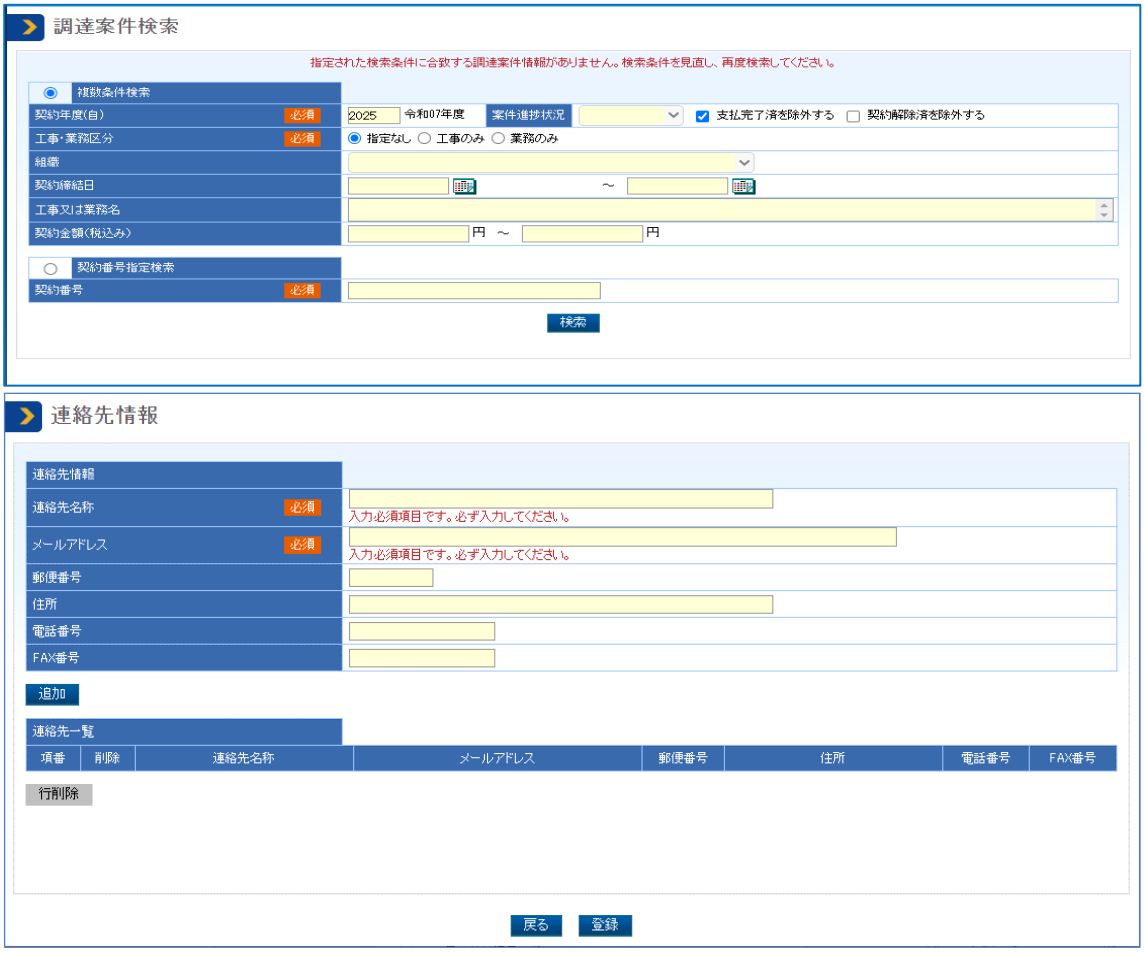
入力画面



No.	名称	説明
1	必須マーク	入力が必須な項目です。未入力の場合、エラーメッセージが表示されます。
2	入力エリア	黄色のエリアは入力が可能です。文字などを入力します。現在選択しているエリアは、赤枠で表示されます。
3	カレンダー	クリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーで選択した日付が入力されます。
4	一時保存	クリックすると作業途中の情報を一時保存します。一時保存後、「案件状況詳細」画面に戻ると、一時保存した項目のボタンが［再開］になります。［再開］をクリックすると、一時保存した情報が表示され、引き続き作業ができます。 ［再開］をクリックして表示した画面で［削除］をクリックすると、一時保存した情報を削除します。［キャンセル］をクリックすると、編集中の内容が破棄されます。

エラーメッセージ

エラーメッセージが赤字で表示されます。全体に対するメッセージは画面上部に、各項目のメッセージは入力項目ごとに表示されます。
メッセージに従って対処してください。



電子契約システムにログインする

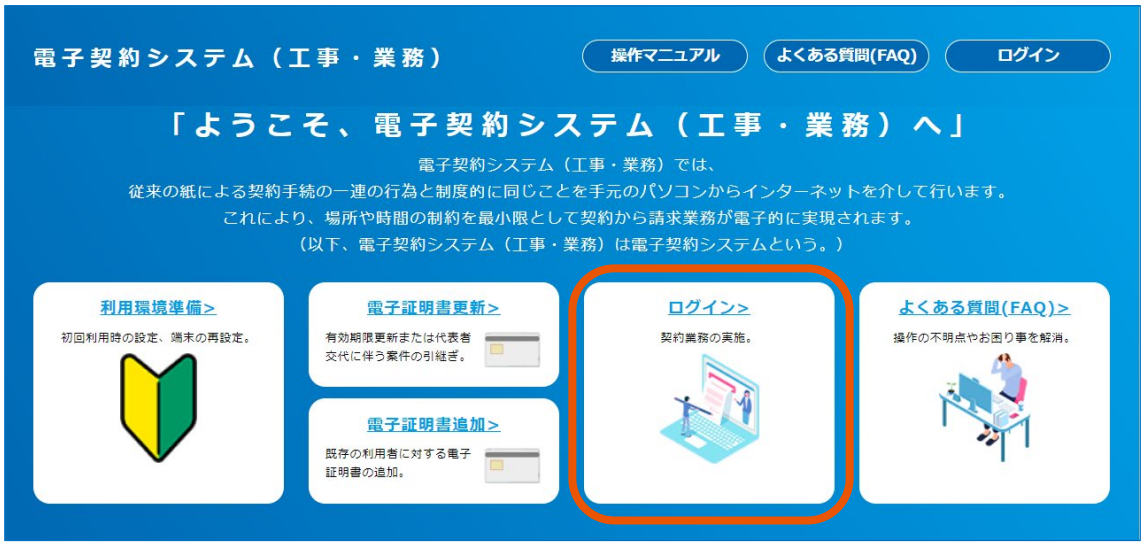
電子契約システムを利用するには、パソコンの環境設定が必要です。「2 パソコンをセットアップする」を参照してください。
電子契約システムで契約や請求を行う場合には、利用者登録済みの電子証明書でログインしてください。システム接続確認、利用者登録、利用者削除、電子証明書の更新または追加を行う場合はログイン不要です。

重要

- ログインするときに PIN 番号を入力します。 PIN 番号を複数回連続で間違えると IC カードがロックされることがあります。ロックされる回数などについては、電子証明書の発行元となる認証局へ確認してください。
- 有効期限まで 10 日以下の電子証明書は利用できません。

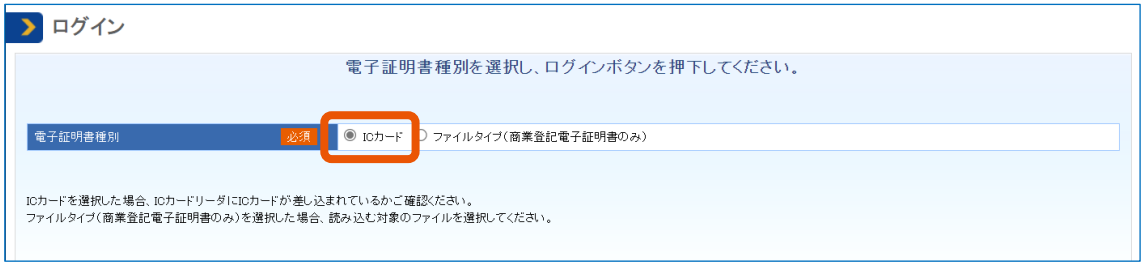
IC カード形式の電子証明書でログインする

1 電子契約システム（https://www.gecs.mlit.go.jp/）で［ログイン］をクリックします。

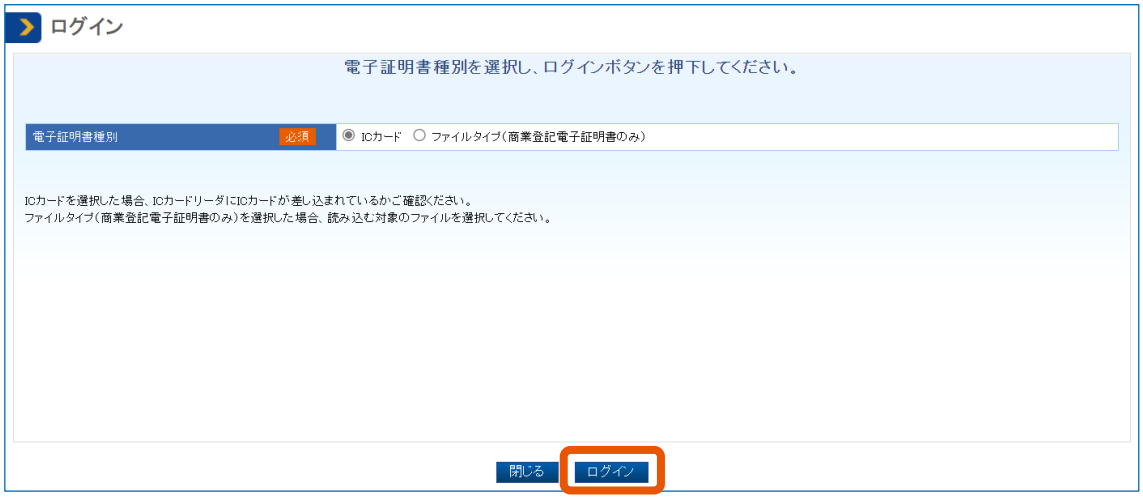


「ログイン」画面が表示されます。

2 「IC カード」を選択します。

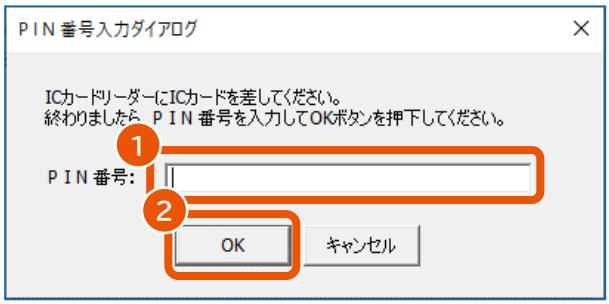


3 利用者登録済みの IC カードをカードリーダーで読み取り、［ログイン］をクリックします。



PIN 番号入力ダイアログが表示されます。

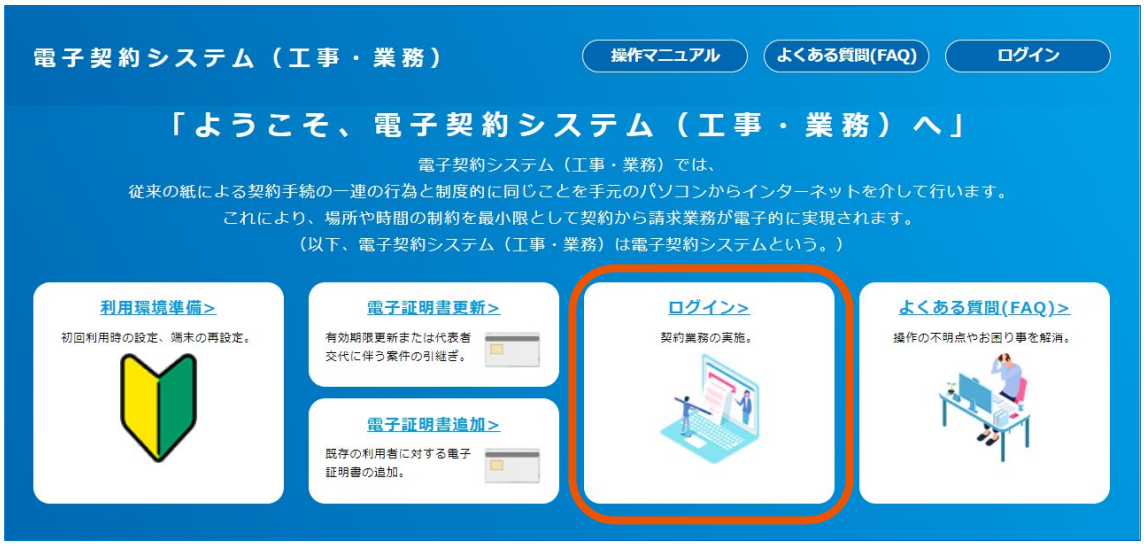
4　PIN 番号を入力（①）し、［OK］をクリック（②）します。



電子契約システムにログインし、「業務トップ」画面が表示されます。
ログインに使用した電子証明書の「商号又は名称、住所、氏名」が、システムに登録されている「商号又は名称、住所、氏名」と一致しない場合は、エラーになります。

ファイルタイプの電子証明書でログインする

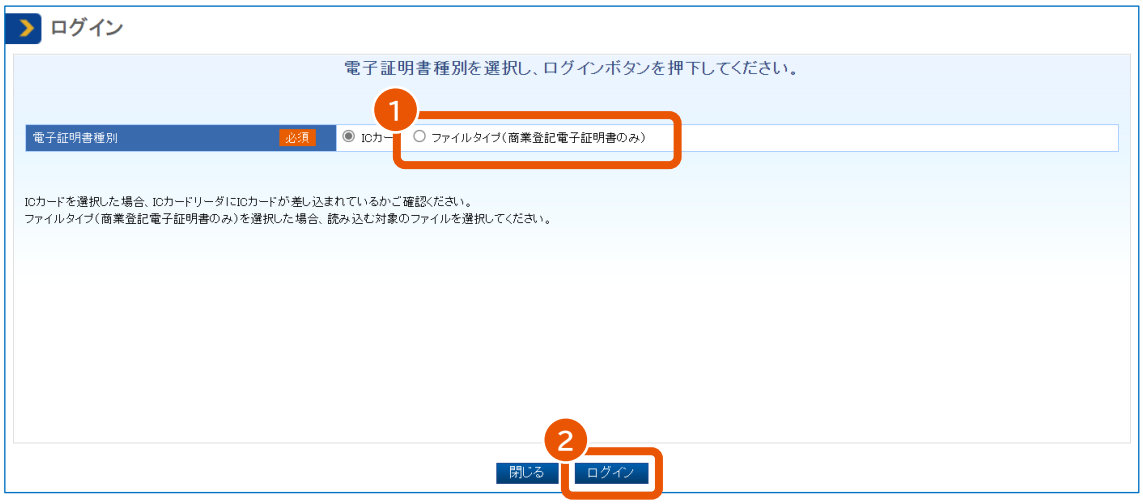
1　電子契約システム（https://www.gecs.mlit.go.jp/）で［ログイン］をクリックします。



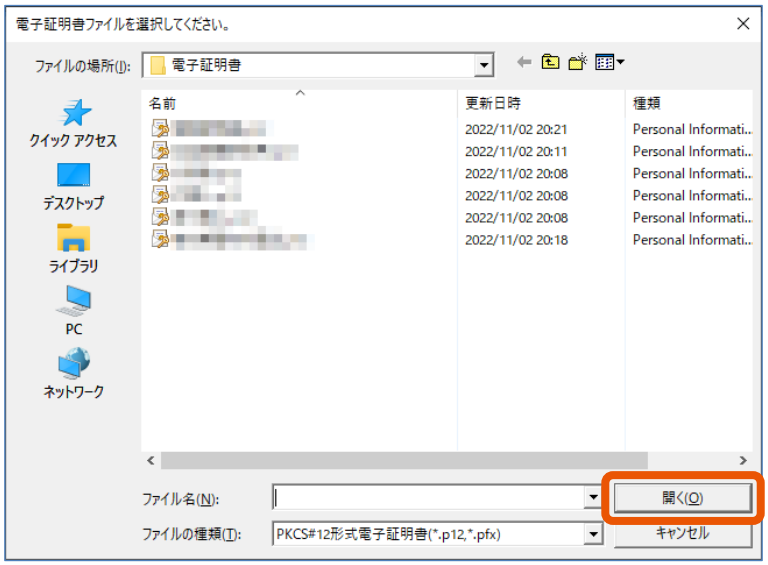
「ログイン」画面が表示されます。

2　［ファイルタイプ（商業登記電子証明書のみ）］を選択（①）し、［ログイン］をクリック（②）し

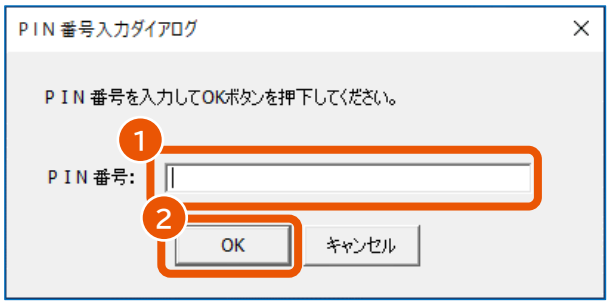
ます。



3　対象のファイルを選択し、［開く］をクリックします。



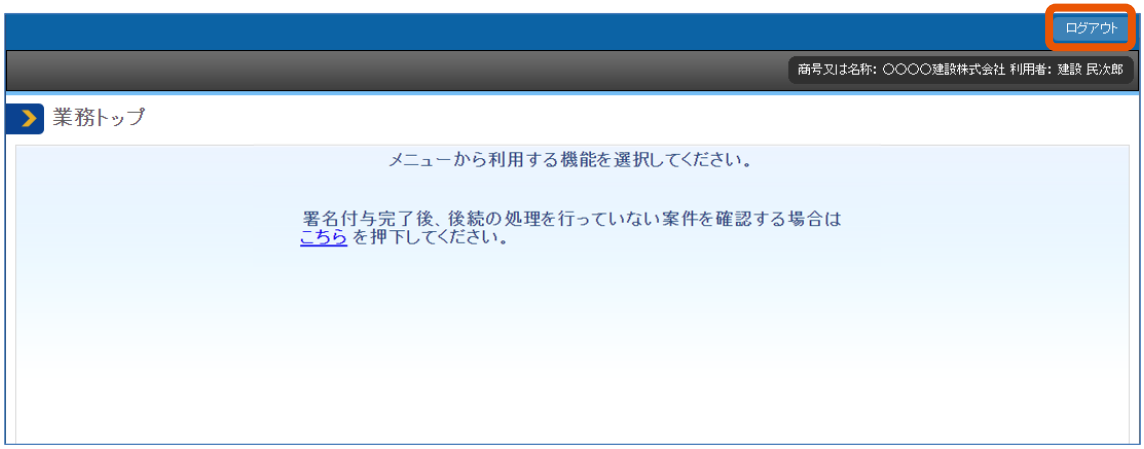
4　PIN 番号を入力（①）し、［OK］をクリック（②）します。



電子契約システムにログインし、「業務トップ」画面が表示されます。
ログインに使用した電子証明書の「商号又は名称、住所、氏名」が、システムに登録されている「商号又は名称、住所、氏名」と一致しない場合は、エラーになります。

電子契約システムからログアウトする

1　［ログアウト］をクリックします。



メッセージ画面が表示されます。

2　［OK］をクリックします。

「ログアウト完了」画面が表示されます。

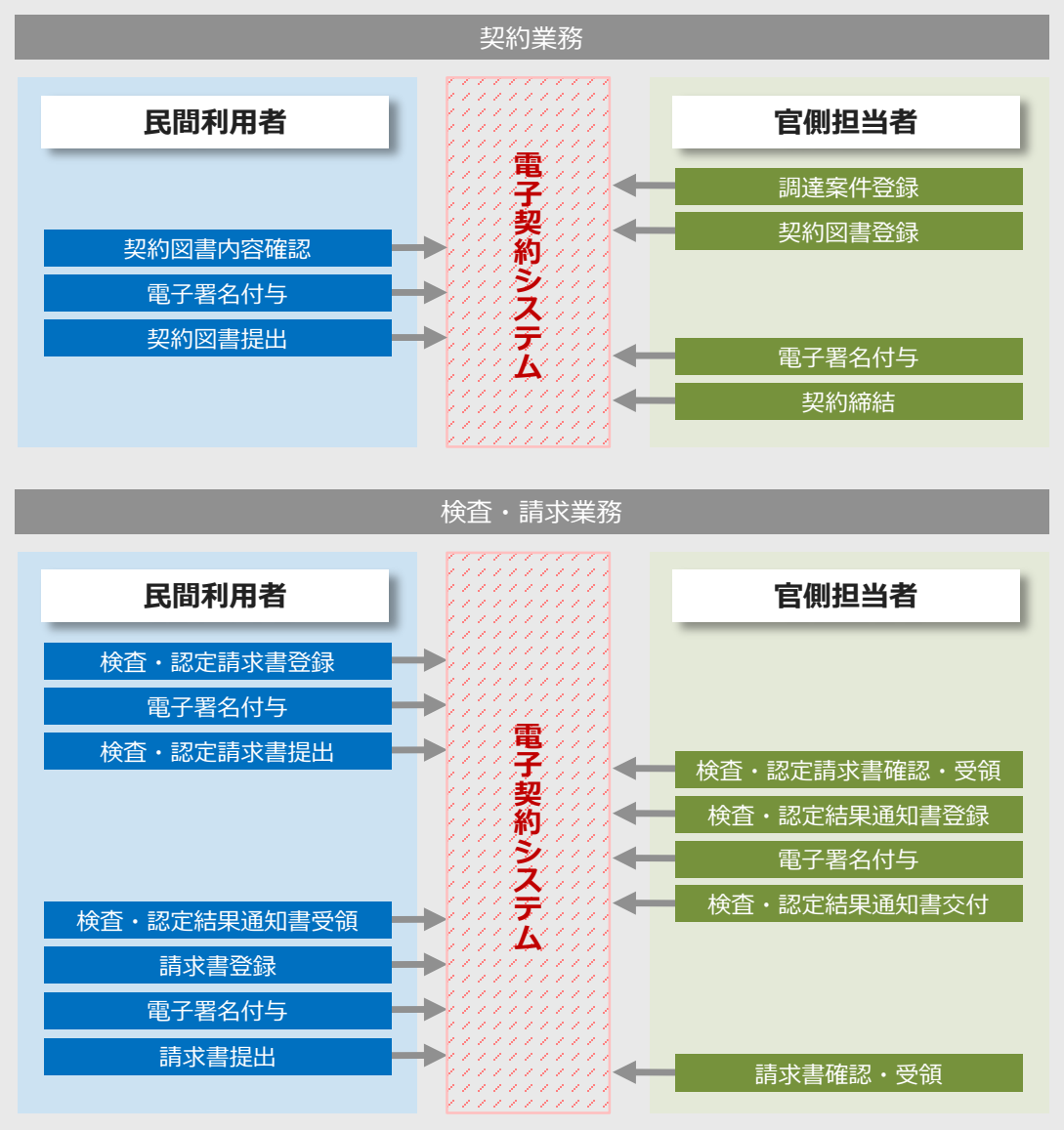
3　［閉じる］をクリックします。

1. 電子契約システムとは

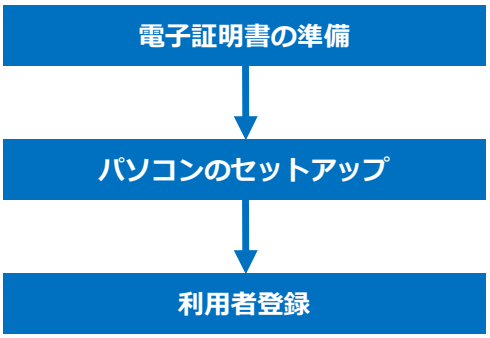
電子契約システムは、公共工事や建設コンサルタント業務などの公共事業調達の契約業務を電子化し、業務の効率化を図ることを目的としています。公共事業調達で行う契約、納入検査、または請求の手続きを電子化できます。電子契約システムは、国土交通省、農林水産省、防衛省、内閣府、文部科学省の府省共通のシステムです。利用機関の調達案件を、本システムを窓口として統一された手続きで処理できます。

重要 • 利用者登録が完了するまで電子契約はできません。期間に余裕をもって利用者登録をしてください。

■ **電子契約システムで実施できる業務の範囲**



■ 電子契約システムを使用するための準備

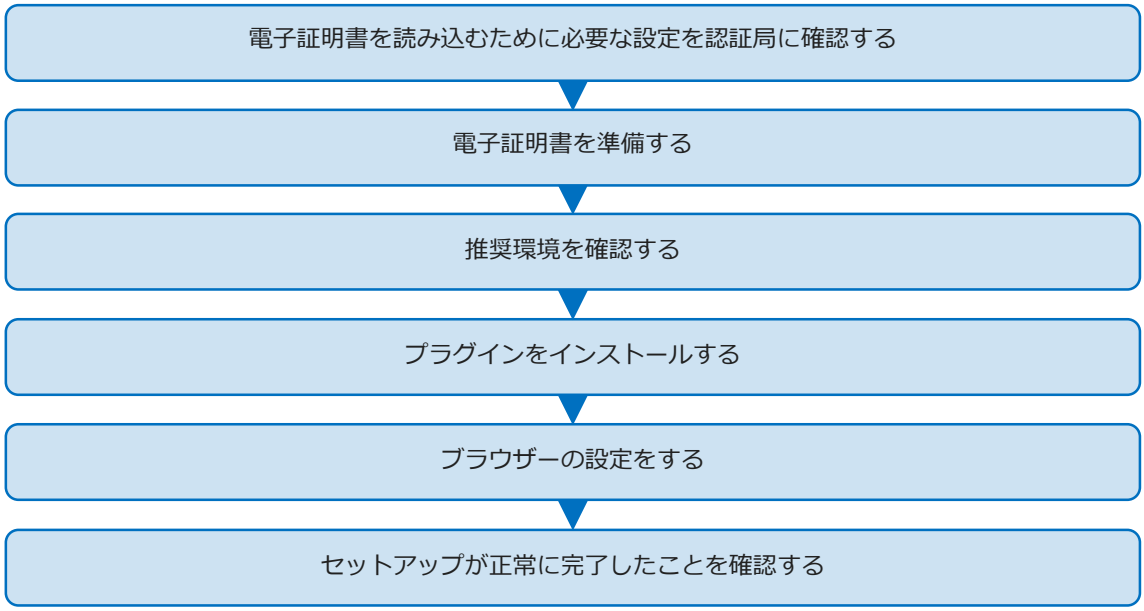


- 電子証明書の準備
  利用者登録、電子契約システムへのログイン、提出書類への署名に使用する電子証明書を準備します。詳しくは、『利用者登録と委任編』「1. 電子証明書を準備する」を参照してください。電子証明書の取得までにかかる時間については、証明書の発行元である各認証局に問い合わせてください。
- パソコンのセットアップ
  電子契約システムを使用するパソコンにプラグインをインストールし、ブラウザーの設定をします。プラグインのインストールはパソコン 1 台につき 1 回です。ただし、ブラウザーの設定はパソコンのアカウントごとに実施してください。設定については、「2 パソコンをセットアップする」を参照してください。
- 利用者登録
  電子契約システムに利用者情報を登録します。詳しくは、『利用者登録と委任編』「2. 利用者を登録する」を参照してください。

メモ
- セットアップでこまったときには、電子契約システムのよくある質問(FAQ)を参照してください。
- 本マニュアルでは Windows 10 での操作を説明しています。使用しているパソコンによっては操作が異なることがあります。

2. パソコンをセットアップする

電子契約システムを使用するパソコンをセットアップします。セットアップは以下の流れで実施します。



IC カード形式の電子証明書を使用する場合、カードリーダーで IC カードを読み込むための設定が必要です。カードリーダーの設定については、電子証明書の発行元である認証局に確認してください。

2.1 推奨環境を確認する

電子契約システムを使用するには、以下を参照してソフトウェア環境、ハードウェア環境、ネットワーク環境を準備してください。

■ ソフトウェア環境

項目	要件
OS	Microsoft Windows 10/11（64bit 版）
ブラウザー	Microsoft Edge または Google Chrome（最新の安定版）
電子契約システム用プログラム	• 電子契約システム（工事・業務）AP の拡張機能（最新版 1.1.0.0）がインストールされている。 • 電子契約システムプラグイン（最新版 2.2.0.0）がインストールされている。

■ ハードウェア環境

項目	要件
CPU	Core 2 Duo 3GHz 同等以上を推奨

項目	要件
メモリ	2GB 以上を推奨
ハードディスクドライブ（HDD）	IC カード形式の電子証明書を利用する場合、ドライバーなどのインストールのため 1GB 以上の空きエリアを推奨
USB ポート（1.1 以上）	IC カード形式の電子証明書を利用する場合は必須
画面解像度	1280×720 以上

■ **ネットワーク環境**

項目	要件
接続	インターネットに接続できる環境が必須
電子メール	電子メールを送受信できる環境が必須
プロトコル	以下のプロトコルで通信できる環境が必須 • HTTP：Hyper Text Transfer Protocol • HTTPS：Hyper Text Transfer Protocol Security

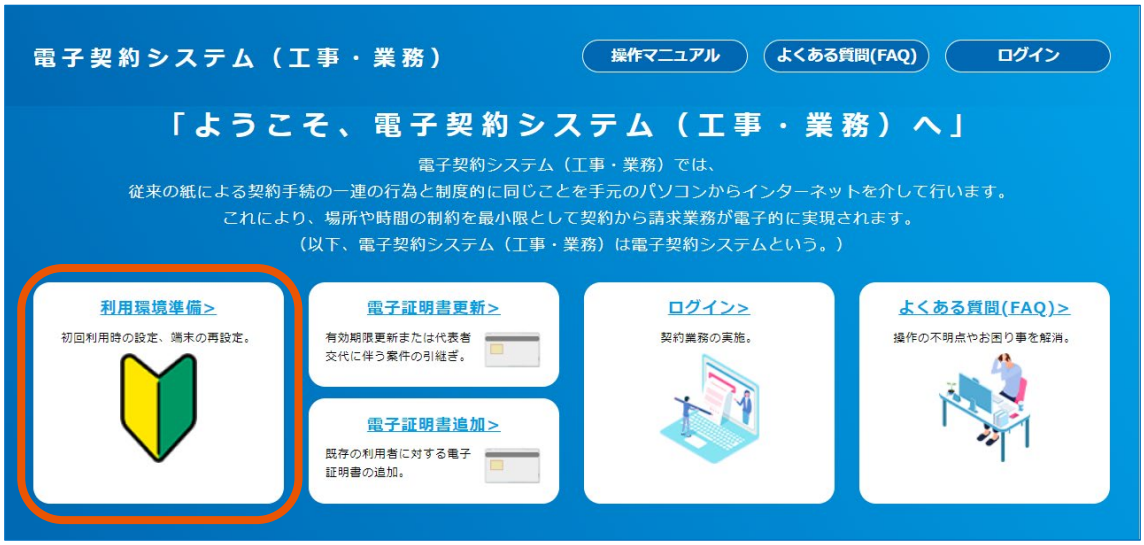
2.2 プラグインをインストールする

電子契約システムの利用に必要なプラグインをパソコンにインストールします。

1　電子契約システム（https://www.gecs.mlit.go.jp/）にアクセスします。

「電子契約システム（工事･業務）」画面が表示されます。

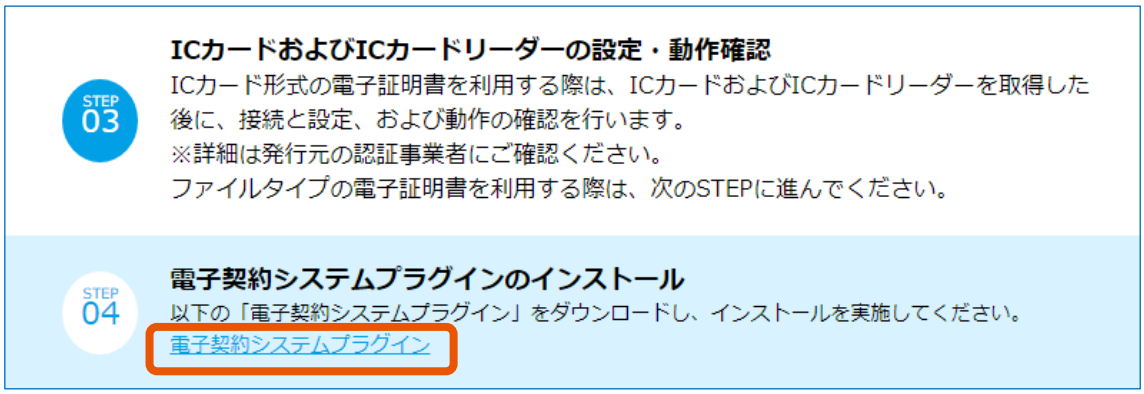
2　［利用環境準備］をクリックします。



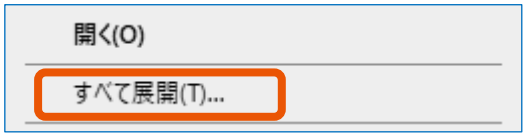
「利用環境準備」画面が表示されます。

3　「STEP 04 電子契約システムプラグインのインストール」の［電子契約システムプラグイン］をクリッ

クし、パソコンに圧縮ファイルを保存します。



4　手順 3 でダウンロードした"EcsGetCertBHOSetup.zip"を右クリックして、［すべて展開］をクリックします。



「展開先の選択とファイルの展開」画面が表示されます。

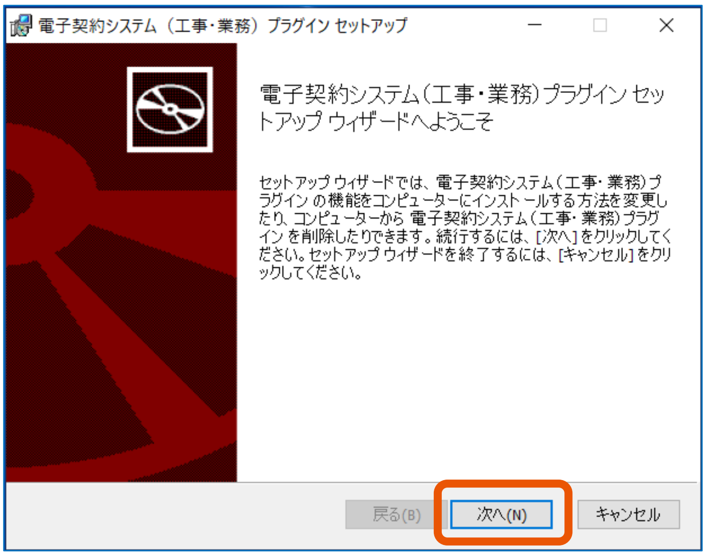
5　［展開］をクリックします。

［参照］をクリックすると、別のフォルダーを展開先として指定できます。

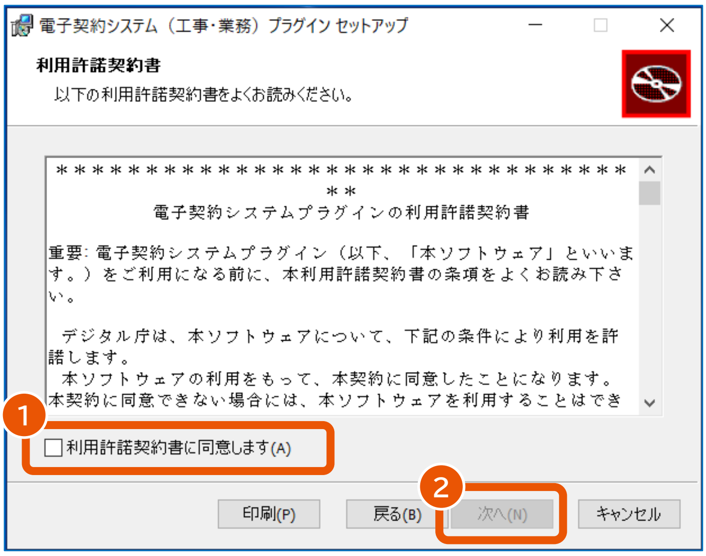
6　「EcsGetCertBHOSetup」フォルダーにある"EcsGetCertBHOSetup.msi"をダブルクリックします。

インストーラーが起動し、「電子契約システム（工事・業務）プラグイン セットアップウィザードへようこそ」画面が表示されます。

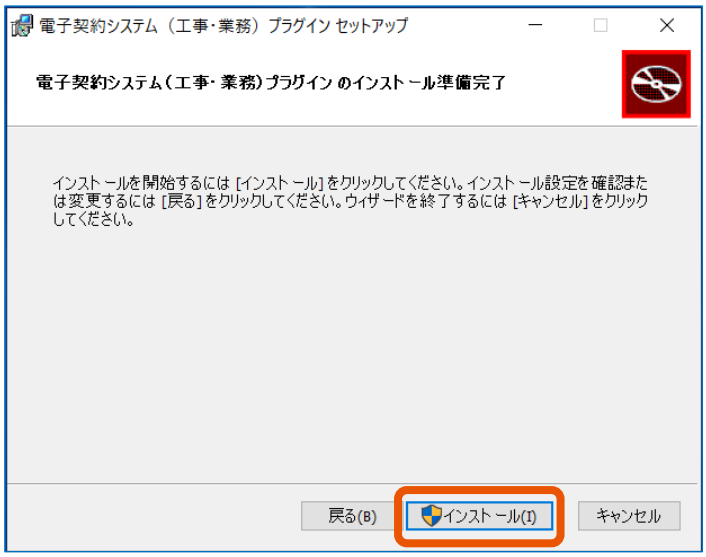
7　［次へ］をクリックします。



8　利用許諾契約書の内容を確認してから「利用許諾契約書に同意します」にチェックを入れ（①）、［次へ］をクリック（②）します。

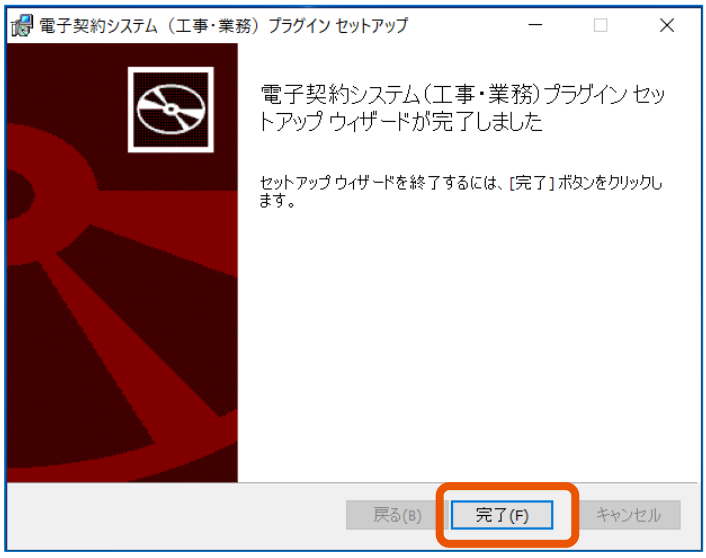


9　［インストール］をクリックします。



プラグインのインストールが始まります。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「確認済みの発行元」に Digital Agency と表示されていることを確認して［はい］をクリックします。

10「電子契約システム（工事・業務）プラグイン セットアップウィザードが完了しました」と表示されたら［完了］をクリックします。



画面が閉じます。

11 パソコンのスタートボタン（ ）をクリックし、［Windows システムツール］の［コントロールパネル］をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

12 **［プログラム］をクリックします。**

13 **［プログラムと機能］をクリックします。**

14 **プログラムの一覧に"電子契約システム（工事・業務）プラグイン"があることを確認します。**

以上で電子契約システムプラグインのインストールは完了です。続けてブラウザーの設定をします。設定方法は「2.3 ブラウザーの設定をする」を参照してください。

メモ
- ダウンロードした圧縮ファイルの解凍方法は、パソコンにインストールされている解凍ソフトによって異なります。
- コントロールパネルの表示方法によっては手順 12 の[プログラム]は表示されません。この場合は[プログラムと機能]をクリックしてください。

2.3 ブラウザーの設定をする

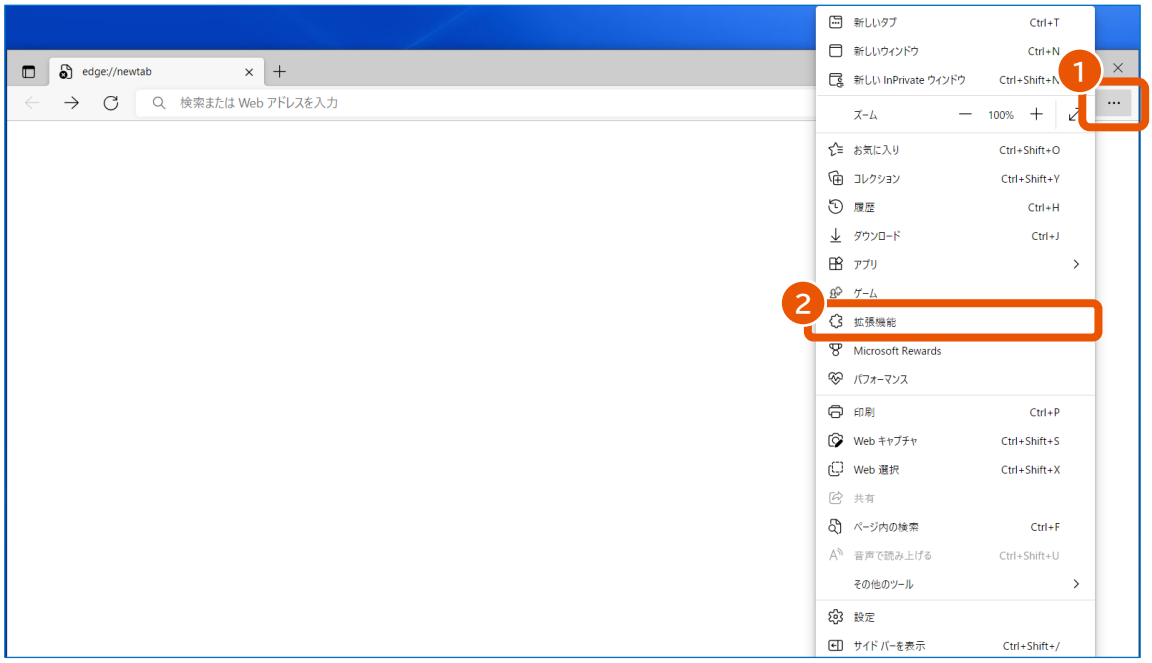
電子契約システムの利用時に使用するブラウザーの設定をします。使用できるブラウザーは Microsoft Edge または Google Chrome です。

2.3.1 Microsoft Edge を使用する場合

以降の手順はインターネットに接続している環境で説明します。インターネットに接続できない環境で操作するときは、「4.1.1 Microsoft Edge に拡張機能をインストールする」を参照してください。

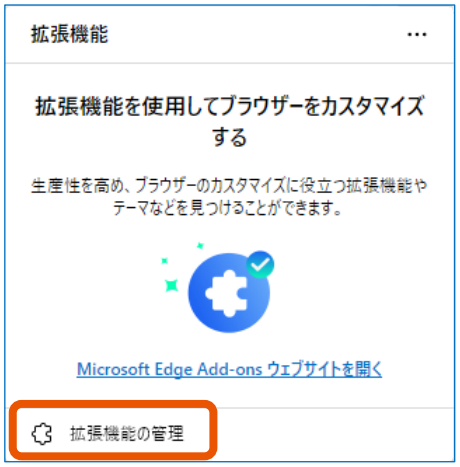
1　Microsoft Edge を起動します。

2　[･･･]をクリック（①）し、［拡張機能］をクリック（②）します。



ポップアップが表示されます。

3　［拡張機能の管理］をクリックします。



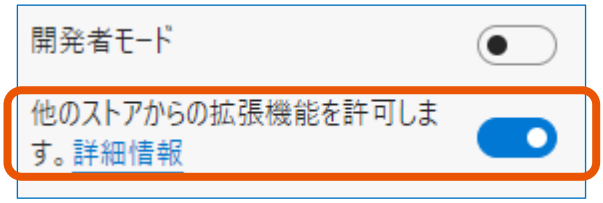
4　［他のストアからの拡張機能を許可します。］をクリックします。

ポップアップが表示されます。

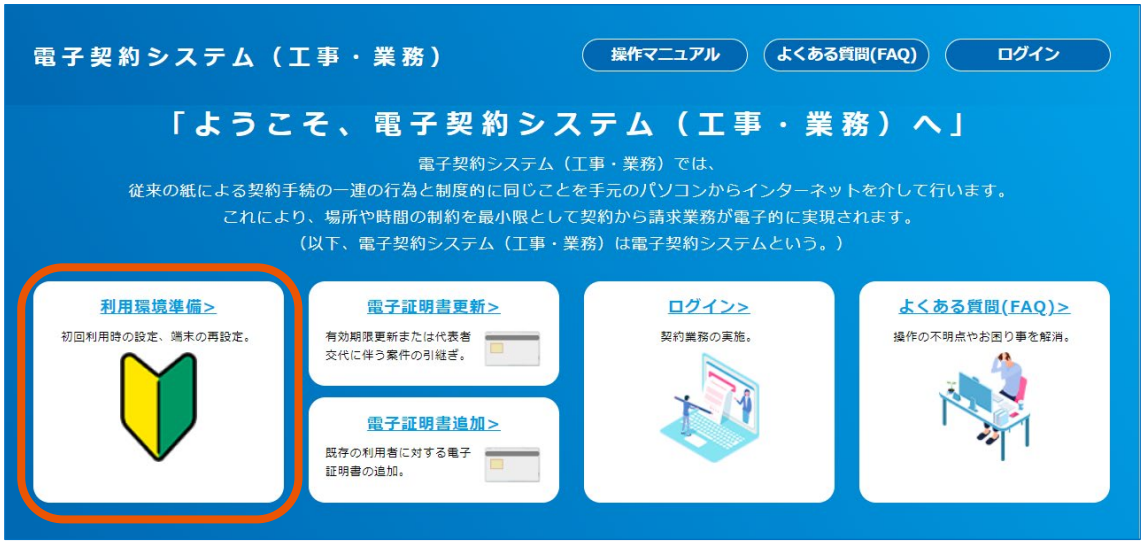
5　［許可］をクリックします。

6　ブラウザーの更新ボタン（ ）をクリックして画面を更新します。

［他のストアからの拡張機能を許可します。］が有効になります。



7　電子契約システム（https://www.gecs.mlit.go.jp/）にアクセスし、［利用環境準備］をクリックします。



「利用環境準備」画面が表示されます。

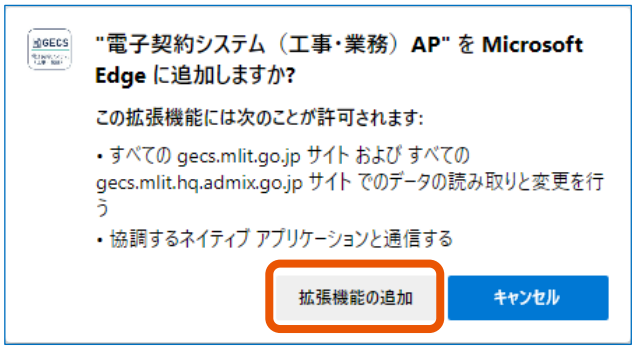
8 **「STEP 05 ブラウザの設定」の<<Microsoft Edge の場合>>にある［ウェブストアへのリンクはこちら］をクリックします。**

Chrome ウェブストアの「電子契約システム（工事・業務）AP」画面が表示されます。

9 **［Chrome に追加］をクリックします。**

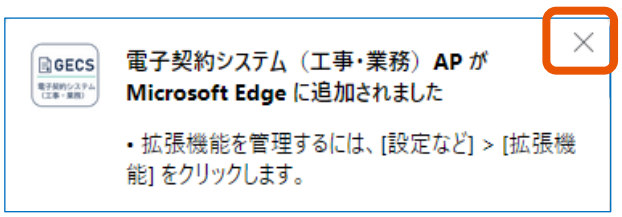
ポップアップが表示されます。

10 **［拡張機能の追加］をクリックします。**

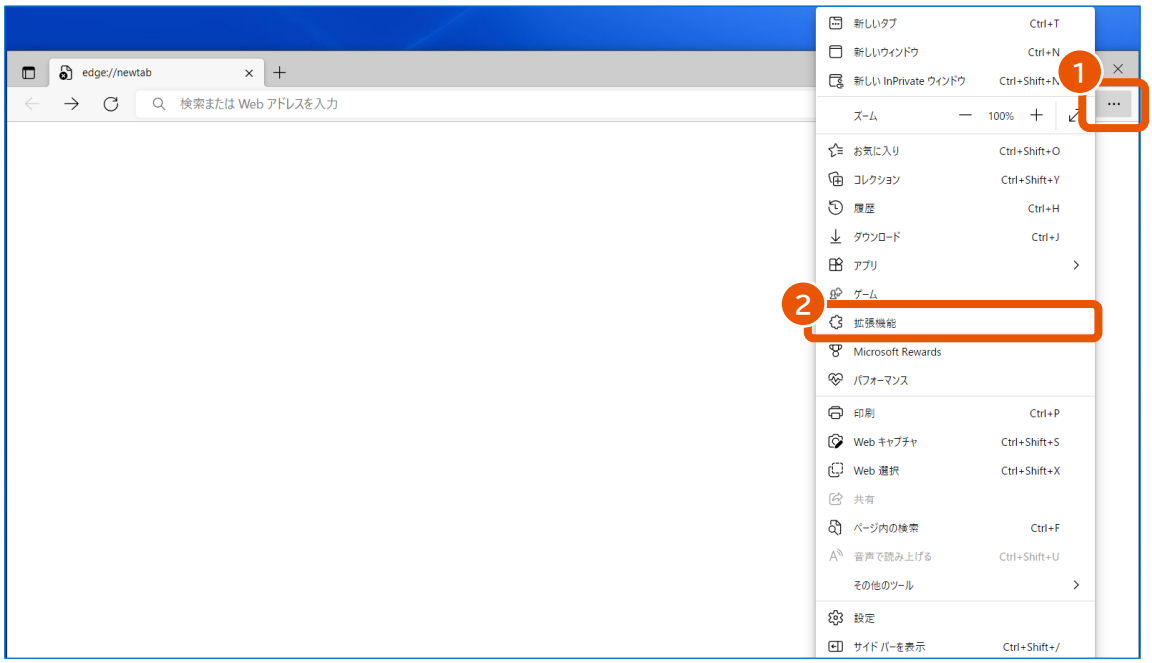


ポップアップが表示されます。

11 **［×］をクリックしてメッセージを閉じます。**



12 [･･･]をクリック（①）し、［拡張機能］をクリック（②）します。

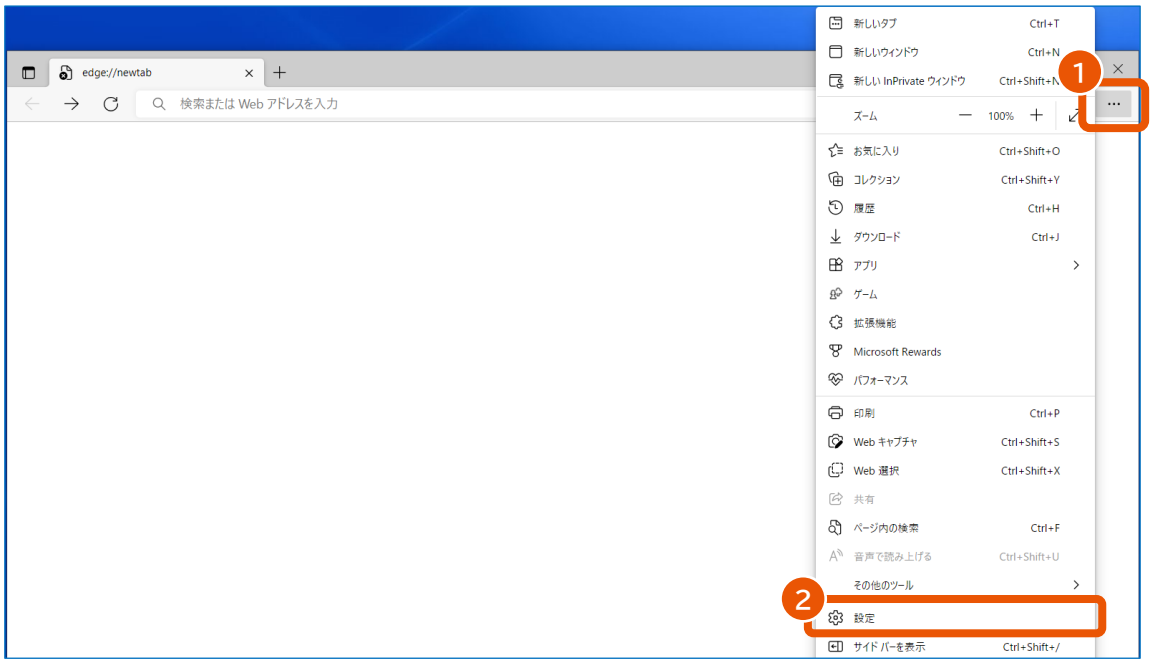


ポップアップが表示されます。

13 ［拡張機能の管理］をクリックします。

14 「インストール済の拡張機能」で「他のソースから」に「電子契約システム（工事・業務）AP」が表示され、有効になっていることを確認します。

15 [･･･]をクリック（①）し、［設定］をクリック（②）します。



16 ［Cookie とサイトのアクセス許可］をクリック（①）し、［ポップアップとリダイレクト］をクリック（②）します。

17 **「許可」の［追加］をクリックします。**

18 **「サイト」に「https://www.gecs.mlit.go.jp/」と入力（①）し、［追加］をクリック（②）します。**

追加した URL が「許可」に表示されます。画面に表示されるアドレスでは、末尾のスラッシュ（/）は省略されます。

以上でブラウザーの設定は完了です。続けてセットアップが正しく完了したか確認します。確認方法については、「2.4 セットアップが正常に完了したことを確認する」を参照してください。

メモ
- 拡張機能は自動更新されると無効になることがあります。「電子契約システム（工事・業務）AP」が無効になっているときは、有効にしてから電子契約システムを使用してください。

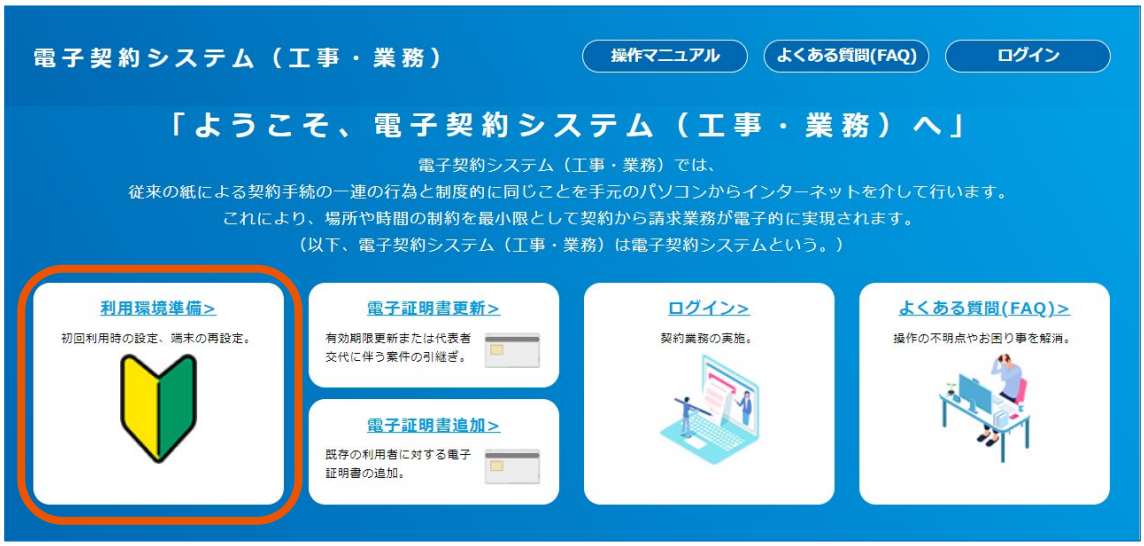
2.3.2 Google Chrome を使用する場合

以降の手順はインターネットに接続している環境で説明します。インターネットに接続できない環境で操作するときは、「4.1.2 Google Chrome に拡張機能をインストールする」を参照してください。

1 **Google Chrome を起動します。**

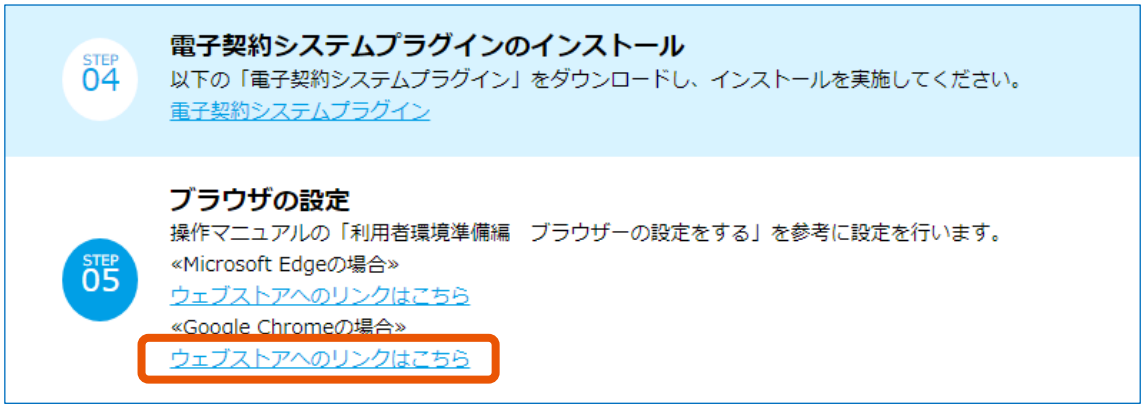
2 **電子契約システム（https://www.gecs.mlit.go.jp/）にアクセスし、［利用環境準備］をク**

リックします。



「利用環境準備」画面が表示されます。

3 「STEP 05 ブラウザの設定」の<<Google Chrome の場合>>にある［ウェブストアへのリンクはこちら］をクリックします。



Chrome ウェブストアの「電子契約システム（工事・業務）AP」画面が表示されます。

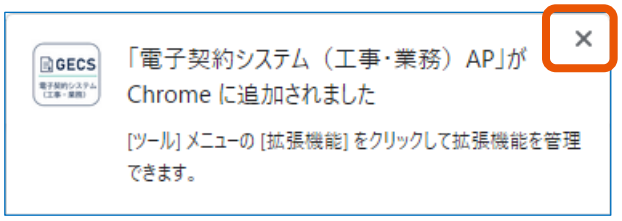
4 ［Chrome に追加］をクリックします。

ポップアップが表示されます。

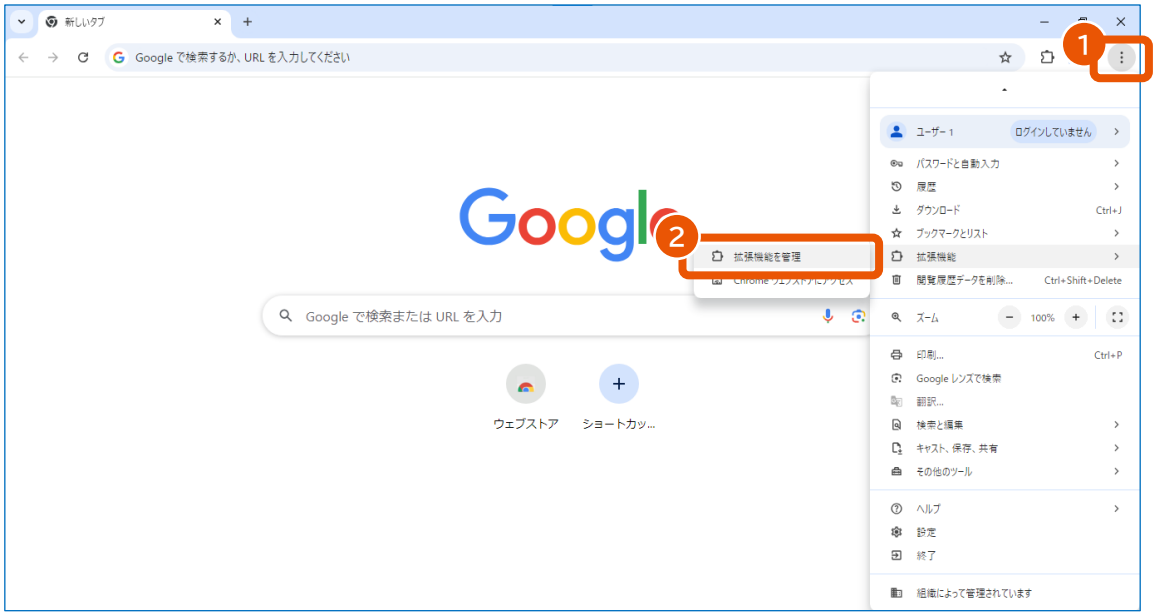
5 ［拡張機能を追加］をクリックします。

ポップアップが表示されます。

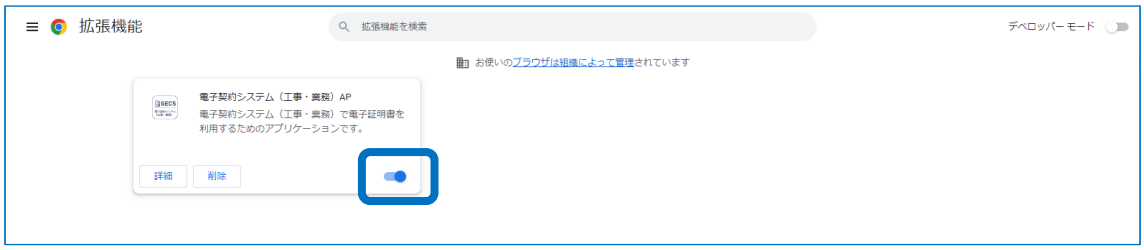
6 ［×］をクリックしてメッセージを閉じます。



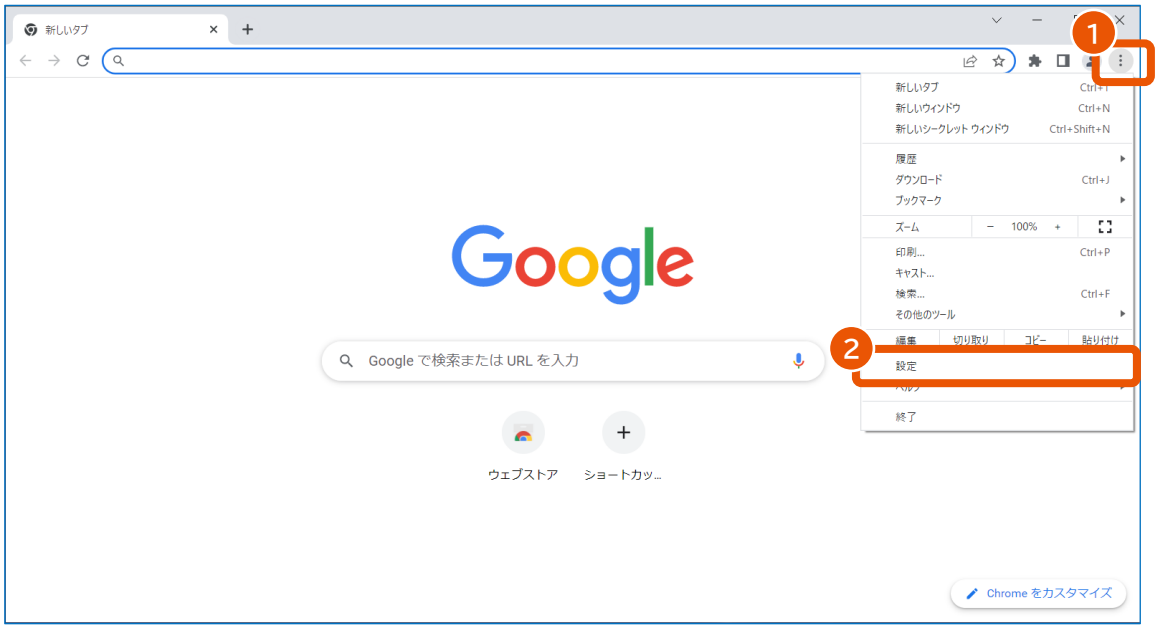
7 [ ]をクリック（①）し、［拡張機能］で［拡張機能を管理］をクリック（②）します。



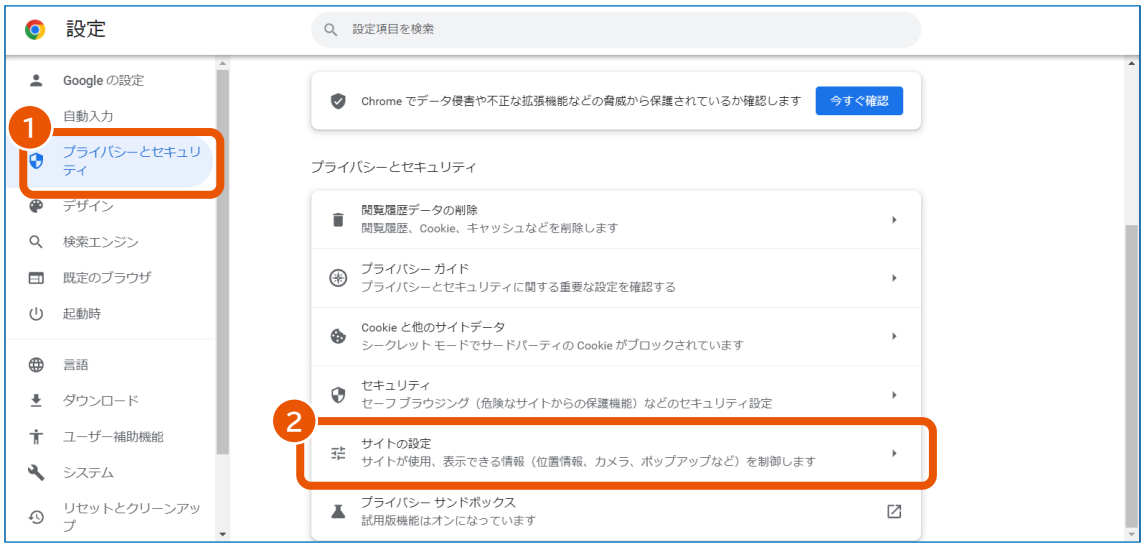
8 「電子契約システム（工事･業務）AP」が表示され、有効になっていることを確認します。



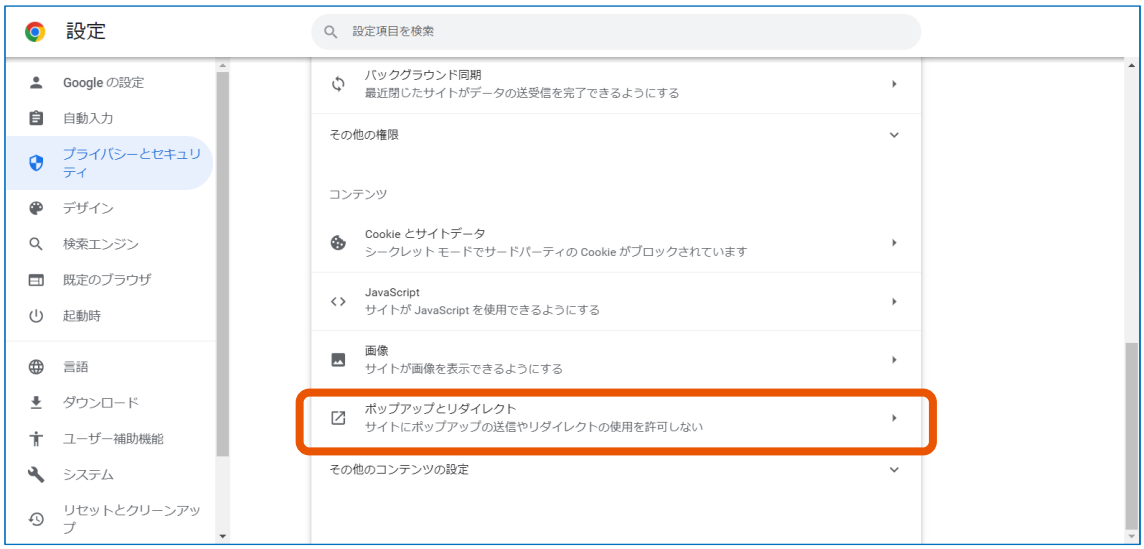
9 [ ]をクリック（①）し、［設定］をクリック（②）します。



10 ［プライバシーとセキュリティ］をクリック（①）し、［サイトの設定］をクリック（②）します。

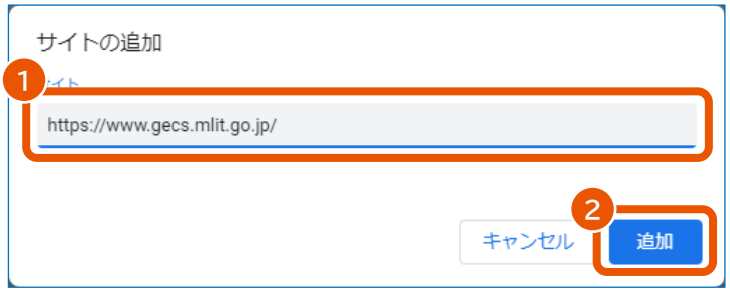


11 「コンテンツ」の［ポップアップとリダイレクト］をクリックします。



12 「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト」の［追加］をクリックします。

13 「サイト」に「https://www.gecs.mlit.go.jp/」と入力（①）し、［追加］をクリック（②）します。



追加した URL が「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト」に表示されます。画面に表示されるアドレスでは、末尾のスラッシュ（/）は省略されます。

以上でブラウザーの設定は完了です。続けてセットアップが正しく完了したか確認します。確認方法については、「2.4 セットアップが正常に完了したことを確認する」を参照してください。

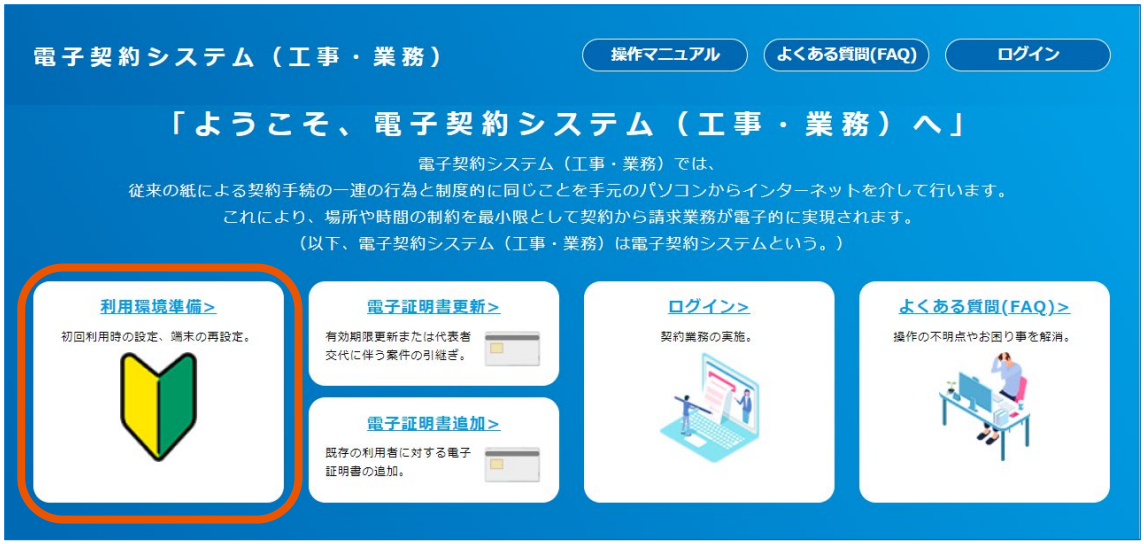
メモ
- 拡張機能は自動更新されると無効になることがあります。「電子契約システム（工事・業務）AP」が無効になっているときは、有効にしてから電子契約システムを使用してください。

2.4 セットアップが正常に完了したことを確認する

1　電子契約システム（https://www.gecs.mlit.go.jp/）にアクセスします。

「電子契約システム（工事・業務）」画面が表示されます。

2　［利用環境準備］をクリックします。

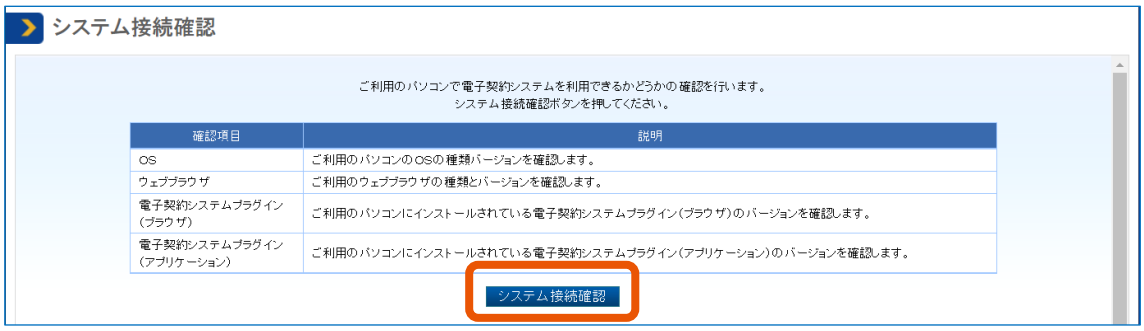


「利用環境準備」画面が表示されます。

3　「STEP 06 システム接続確認」の［システム接続確認］をクリックします。

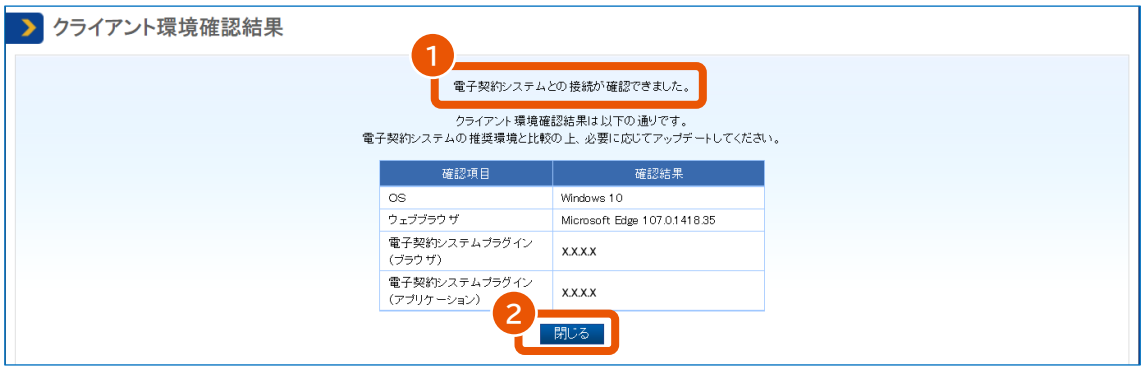
新規ウィンドウで「システム接続確認」画面が表示されます。

4 ［システム接続確認］をクリックします。



「クライアント環境確認結果」画面が表示されます。

5 「電子契約システムとの接続が確認できました。」と表示されていることを確認（①）し、［閉じる］をクリック（②）します。



初めて電子契約システムを利用する場合は、パソコンのセットアップ完了後に契約者名義の電子証明書で利用者登録を実施します。登録のしかたについては、『利用者登録と委任編』「2．利用者を登録する」を参照してください。

重要 「OS」は Windows11 を使用している場合であっても確認結果が「Windows10」と表示されますが、システム動作に問題はありませんので利用者側での対処は不要です。

3. 電子契約システムプラグインを入れ替える

3.1 プラグインを入れ替える

電子契約システムプラグインの最新版とパソコンにインストールされているプラグインのバージョンが異なるときは、プラグインを入れ替えてください。

- 電子契約システムプラグインの最新バージョン：「2.1 推奨環境を確認する」で確認してください。
- パソコンにインストールされているプラグインのバージョン：「システム接続確認」画面で確認してください。
  「システム接続確認」画面の表示方法は、「2.4 セットアップが正常に完了したことを確認する」を参照してください。

1 **古いプラグインをアンインストールします。**

アンインストール方法は、「3.2 プラグインをアンインストールする」を参照してください。

2 **アンインストールが完了したら、最新のプラグインをインストールします。**

インストール方法は、「2.2 プラグインをインストールする」を参照してください。

ブラウザーの再設定は不要です。

3.2 プラグインをアンインストールする

電子契約システムプラグインを入れ替える場合、または電子契約システムを今後利用しない場合は電子契約システムプラグインをアンインストールします。
アンインストールは Administrators（システム管理者権限）グループのユーザーで行ってください。

1 **［スタート］（ ）をクリックし、［Windows システムツール］の［コントロールパネル］をクリックします。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **［プログラム］をクリックします。**

3 **［プログラムと機能］をクリックします。**

4 **プログラムの一覧で、"電子契約システム（工事・業務）プラグイン"を選択（①）し、［アンインス**

トール］をクリック（②）します。

ポップアップが表示されます。

5　［はい］をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「確認済みの発行元」に Digital Agency と表示されていることを確認して［はい］をクリックします。
電子契約システムを今後利用しない場合は、ブラウザーから拡張機能を削除します。「3.4 拡張機能をアンインストールする」を参照してください。

メモ
- コントロールパネルの表示方法によっては手順 2 の[プログラム]は表示されません。この場合は[プログラムと機能]をクリックしてください。

3.3 拡張機能を入れ替える

電子契約システムの拡張機能の最新版とブラウザーにインストールされている拡張機能のバージョンが異なるときは、拡張機能を入れ替えてください。

- 拡張機能の最新バージョン：「2.1 推奨環境を確認する」で確認してください。
- ブラウザーにインストールされている拡張機能のバージョン：拡張機能の管理画面で確認してください。
  拡張機能の管理画面は以下の方法で表示します。
  - Microsoft Edge：メニュー（…）の［拡張機能］をクリックし、［拡張機能の管理］をクリックする。
  - Google Chrome：メニュー（⋮）の［拡張機能］で［拡張機能を管理］をクリックする。

1　古い拡張機能をアンインストールします。

アンインストール方法は、「3.4 拡張機能をアンインストールする」を参照してください。

2　アンインストールが完了したら、最新の拡張機能をインストールします。

インストール方法は以下を参照してください。

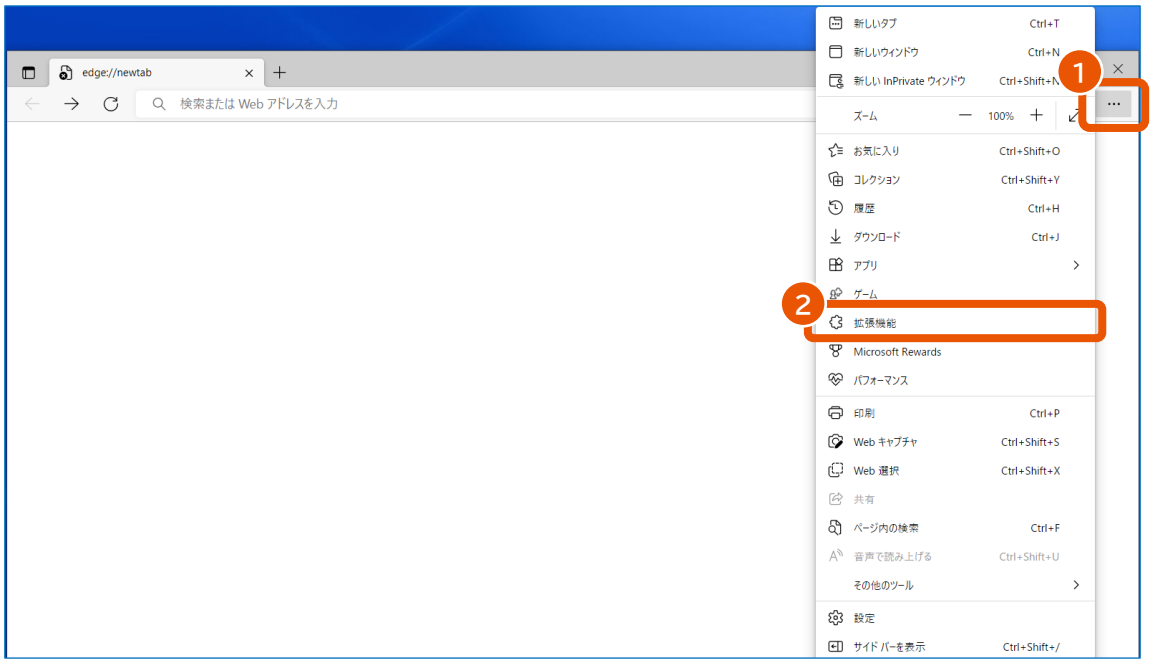
- Microsoft Edge：「2.3.1 Microsoft Edge を使用する場合」の手順 1～14
- Google Chrome：「2.3.2 Google Chrome を使用する場合」の手順 1～8

3.4 拡張機能をアンインストールする

電子契約システムを今後利用しない場合はブラウザーから拡張機能をアンインストールします。

3.4.1 Microsoft Edge から拡張機能をアンインストールする

1 **[…]をクリック（①）し、［拡張機能］をクリック（②）します。**



ポップアップが表示されます。

2 **［拡張機能の管理］をクリックします。**

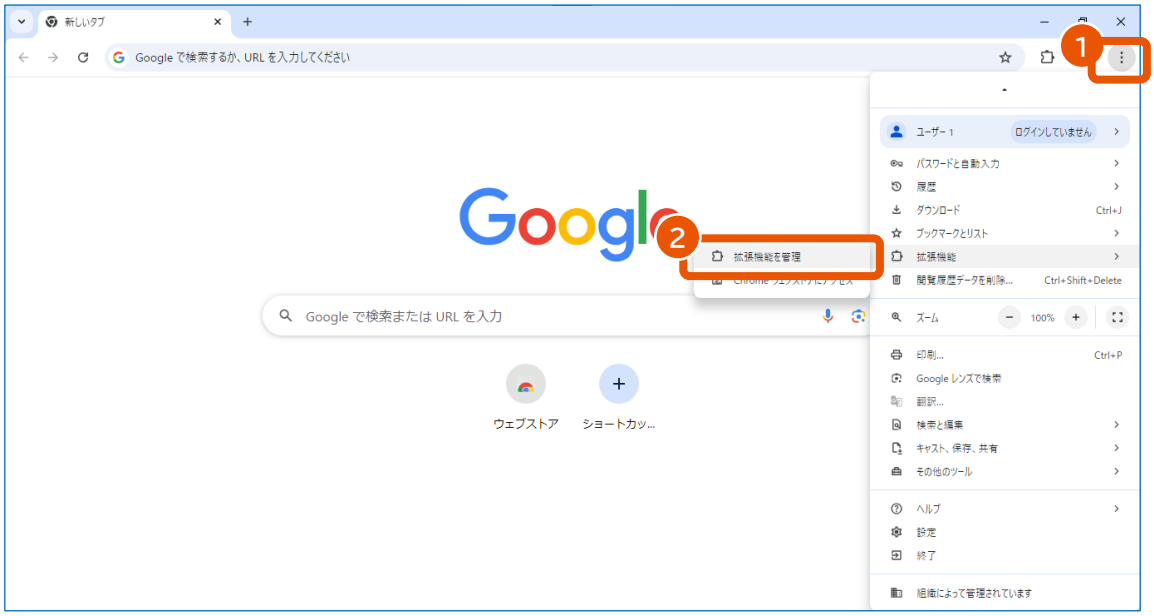
3 **「電子契約システム（工事・業務）AP」の［削除］をクリックします。**

ポップアップが表示されます。

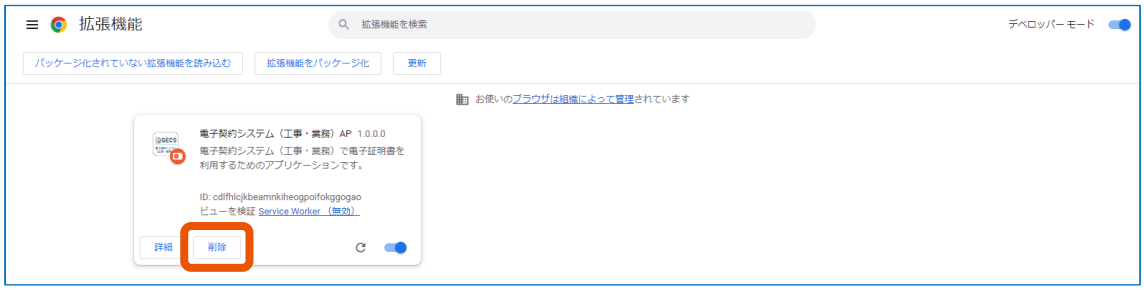
4 ［削除］をクリックします。

3.4.2 Google Chrome から拡張機能をアンインストールする

1 [ ]をクリック（①）し、［拡張機能］で［拡張機能を管理］をクリック（②）します。

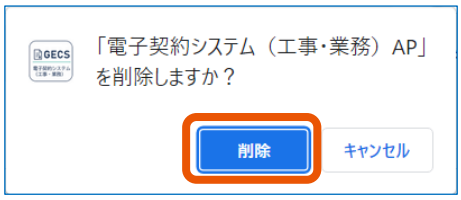


2 「電子契約システム（工事･業務）AP」の［削除］をクリックします。



ポップアップが表示されます。

3 ［削除］をクリックします。



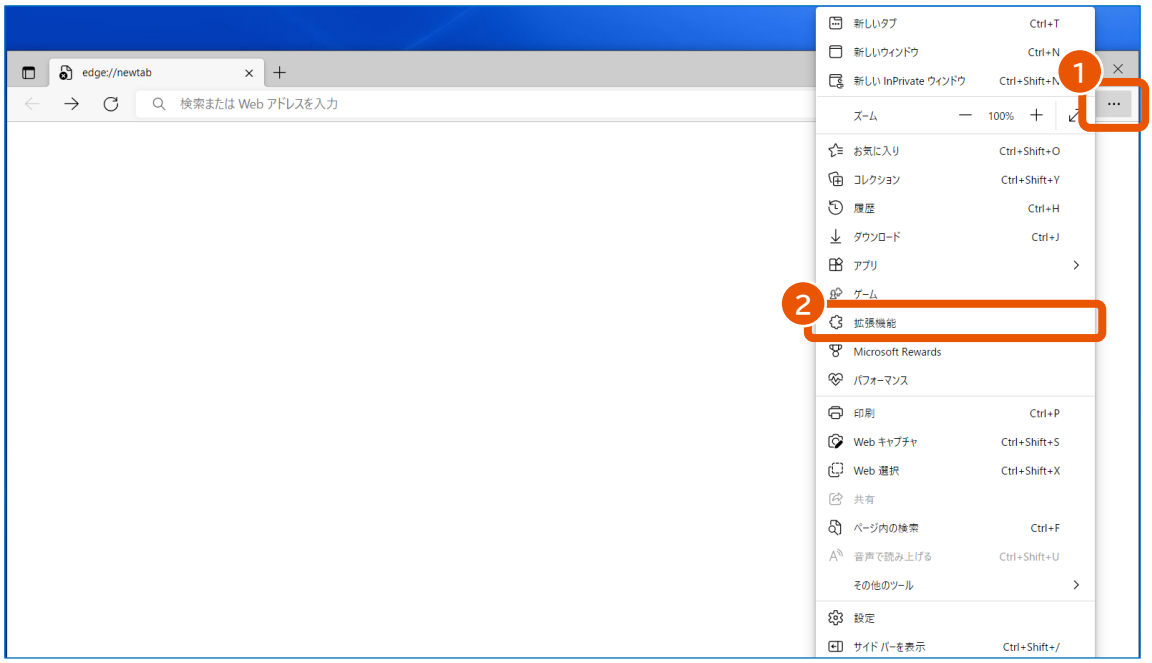
4. 付録

4.1 Chrome ウェブストアに接続できない環境で利用者環境を整備する

セキュリティーの設定により Chrome ウェブストアに接続できない、またはインターネットに接続できない環境で利用者環境を整備する方法を説明します。

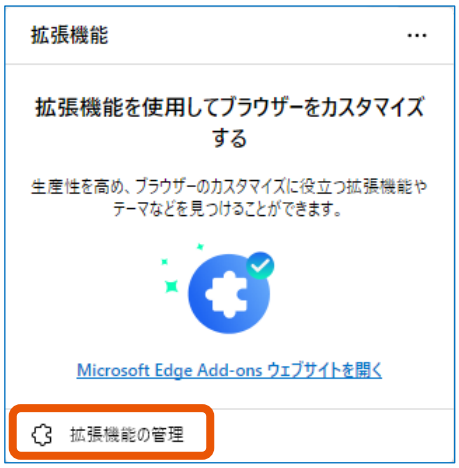
4.1.1 Microsoft Edge に拡張機能をインストールする

1　**[···]をクリック（①）し、［拡張機能］をクリック（②）します。**



ポップアップが表示されます。

2　**［拡張機能の管理］をクリックします。**



3　**［開発者モード］をクリックして有効にします。**

4　**［展開して読み込み］をクリックします。**

フォルダーの選択画面が表示されます。

5　**拡張機能が保存されているフォルダーを選択し、［フォルダーの選択］をクリックします。**

拡張機能は、プラグインをインストールしたときに"C:¥Program Files (x86)¥GECS_Plugins¥ext"に保存されます。

6　**「インストール済の拡張機能」で「他のソースから」に「電子契約システム（工事・業務）AP」が表示さ**

れ、有効になっていることを確認します。

7　ブラウザーの設定をします。

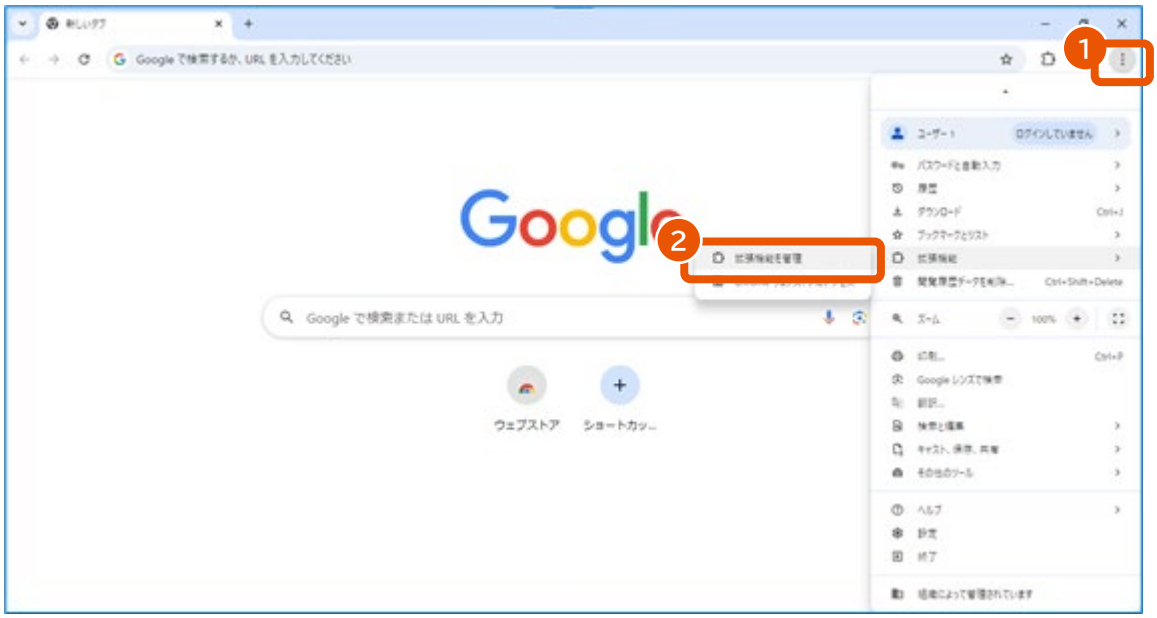
設定方法は、「2.3.1 Microsoft Edge を使用する場合」の手順 15 以降を参照してください。

メモ

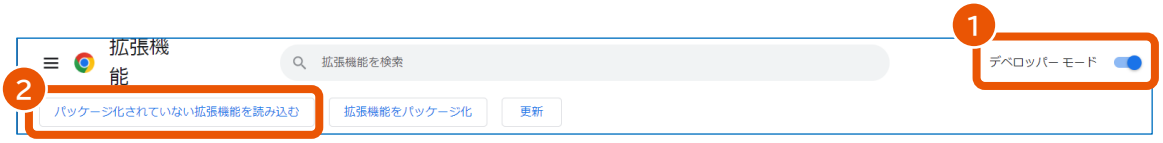
- 組織内で操作が制限されているなどの理由で、開発者モードの有効化、拡張機能のインストール、ポップアップブロックの設定変更ができないことがあります。このときは、ネットワーク管理者または端末の管理者に相談してください。

4.1.2 Google Chrome に拡張機能をインストールする

1　[ ]をクリック（①）し、［拡張機能］で［拡張機能を管理］をクリック（②）します。



2　「デベロッパーモード」を有効にし（①）、［パッケージ化されていない拡張機能を読み込む］をクリックします。



フォルダーの選択画面が表示されます。

3　拡張機能が保存されているフォルダーを選択し、［フォルダーの選択］をクリックします。

拡張機能は、プラグインをインストールしたときに"C:¥Program Files (x86)¥GECS_Plugins¥ext"に保存されます。

4　「電子契約システム（工事･業務）AP」が表示され、有効になっていることを確認します。

5　ブラウザーの設定をします。

設定方法は、「2.3.2 Google Chrome を使用する場合」の手順 9 以降を参照してください。

メモ
- 組織内で操作が制限されているなどの理由で、拡張機能のインストールまたはポップアップブロックの設定変更ができないことがあります。このときは、ネットワーク管理者または端末の管理者に相談してください。

4.1.3 電子契約システムプラグインを入れ替える

電子契約システムプラグインの最新版とパソコンにインストールされているプラグインのバージョンが異なるときは、プラグインを入れ替えてください。

- 電子契約システムプラグインの最新バージョン：「2.1 推奨環境を確認する」で確認してください。
- パソコンにインストールされているプラグインのバージョン：「システム接続確認」画面で確認してください。
  「システム接続確認」画面の表示方法は、「2.4 セットアップが正常に完了したことを確認する」を参照してください。

1　古いプラグインをアンインストールします。

アンインストール方法は、「3.2 プラグインをアンインストールする」を参照してください。

2　アンインストールが完了したら、最新のプラグインをインストールします。

インストール方法は、「2.2 プラグインをインストールする」を参照してください。

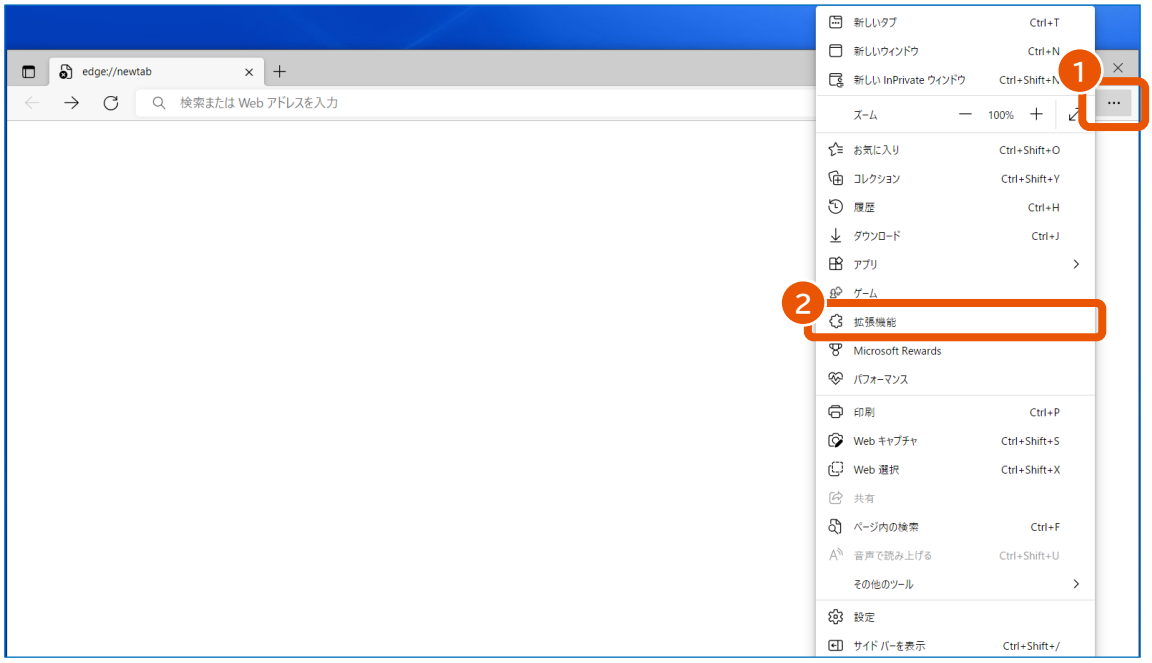
3　拡張機能を再読み込みします。

再読み込みの方法は、「4.1.4 Microsoft Edge で拡張機能を再読み込みする」または「4.1.5

Google Chrome で拡張機能を再読み込みする」を参照してください。

4.1.4 Microsoft Edge で拡張機能を再読み込みする

1　[･･･]をクリック（①）し、［拡張機能］をクリック（②）します。



ポップアップが表示されます。

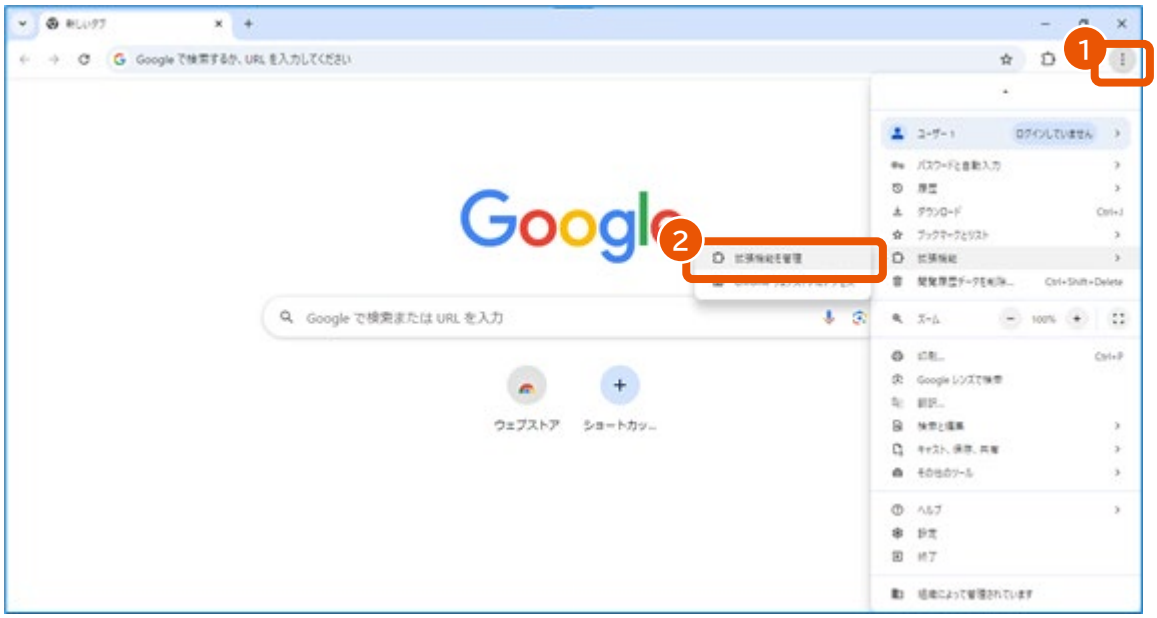
2　［拡張機能の管理］をクリックします。

3　「電子契約システム（工事･業務）AP」が有効になっていることを確認（①）し、［再読み込み］をクリック（②）します。

4　［再読み込み］が表示されていないときは操作不要です。

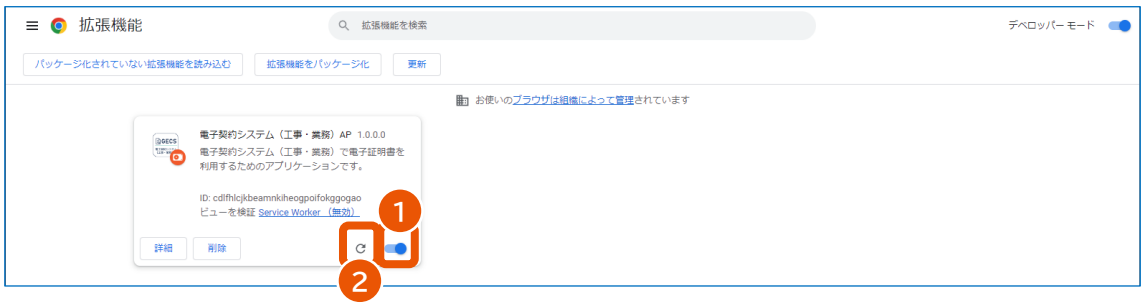
4.1.5 Google Chrome で拡張機能を再読み込みする

1 **[ ]をクリック（①）し、［拡張機能］で［拡張機能を管理］をクリック（②）します。**



2 **「電子契約システム（工事･業務）AP」が有効になっていることを確認（①）し、再読み込みのボタン（ ）をクリック（②）します。**

再読み込みのボタンが表示されていないときは操作不要です。



「再読み込みされました」と表示されます。

4.1.6 電子契約システムプラグインをアンインストールする

電子契約システムを今後利用しない場合は電子契約システムプラグインをアンインストールします。アンインストール方法はオンラインでの操作と同じです。「3.2 プラグインをアンインストールする」を参照してください。
拡張機能のアンインストールは不要です。

改訂履歴

版	改訂日	内容	備考
8.0	令和 5 年 3 月 22 日	全面改訂	
8.1	令和 5 年 5 月 25 日	推奨環境の変更に伴い下記項目を修正 2.1 推奨環境を確認する	
9.0	令和 5 年 10 月 2 日	機能追加リリースにあたり版数を改訂	
9.1	令和 6 年 1 月 25 日	推奨環境の変更に伴い下記項目を修正 2.1 推奨環境を確認する 2.4 セットアップが正常に完了したことを確認する	
10.0	令和 6 年 3 月 8 日	機能追加リリースにあたり操作マニュアルを改訂 入力画面 エラーメッセージ	
10.1	令和 6 年 10 月 23 日	プラグインバージョンアップに伴いバージョン情報を修正 2.1 推奨環境を確認する 四半期における軽微な記載改善 2.3.2 Google Chrome を使用する場合 3.3 拡張機能を入れ替える 3.4.2 Google Chrome から拡張機能をアンインストールする 4.1.2 Google Chrome に拡張機能をインストールする 4.1.5 Google Chrome で拡張機能を再読み込みする	
11.0	令和 7 年 3 月 22 日	機能追加リリースにあたり版数を改訂	